



Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART
CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. 移行ツール
 - 3.1. 前提条件の補足
 - 3.1.1. 移行対象機能
 - 3.2. 制限事項の補足
 - 3.2.1. アクセス権全般
 - 3.2.2. 特定機能/製品のための移行
 - 3.3. 概要
 - 3.3.1. モジュールの分類と依存関係
 - 3.3.2. データ移行処理
 - 3.3.3. 移行ツールのアップデート
 - 3.4. 共通仕様
 - 3.4.1. テーブルに必ず含める項目の移行時の扱い
 - 3.4.2. version 7.2 から継続して利用されるテーブルのカラム順序の方針
 - 3.4.3. version 7.2 のテーブルをリネームして残す場合の名前の方針
 - 3.5. テナント環境セットアップ
 - 3.5.1. セットアップ設定ファイル
 - 3.5.2. 内部処理
- 4. アクセスセキュリティ
 - 4.1. テナント環境セットアップ
 - 4.1.1. セットアップ設定ファイル
 - 4.2. アカウント
 - 4.2.1. 制限事項の補足
 - 4.2.2. テナント環境セットアップ処理内容
 - 4.2.3. テーブル定義変更とデータ移行仕様
 - 4.3. ロール
 - 4.3.1. 制限事項の補足
 - 4.3.2. テナント環境セットアップ処理内容
 - 4.3.3. テーブル定義変更とデータ移行仕様
 - 4.4. カレンダー
 - 4.4.1. 制限事項の補足
 - 4.4.2. テナント環境セットアップ処理内容
 - 4.4.3. データ移行仕様
 - 4.5. メニュー
 - 4.5.1. 移行対象概要
 - 4.5.2. 移行処理概要
 - 4.5.3. 制限事項の補足
 - 4.5.4. テナント環境セットアップ(テナント管理機能差し替え)処理内容
 - 4.5.5. テナント環境セットアップ(アクセスセキュリティ移行ツール)処理内容

- 4.5.6. メニュー移行処理仕様
- 4.5.7. (付録)参考資料
- 4.6. グループ管理権限ユーザメニュー
 - 4.6.1. 移行しない/できない理由
 - 4.6.2. テナント環境セットアップ処理内容
- 4.7. バッチ
 - 4.7.1. 移行しない/できない理由
 - 4.7.2. テナント環境セットアップ処理内容
- 4.8. Webサービスアクセス
 - 4.8.1. 移行しない/できない理由
 - 4.8.2. テナント環境セットアップ処理内容
- 4.9. パスワード履歴
 - 4.9.1. テナント環境セットアップ処理内容
- 4.10. パスワードリマインダ
 - 4.10.1. 制限事項の補足
 - 4.10.2. テナント環境セットアップ処理内容
 - 4.10.3. テーブル定義変更とデータ移行仕様
- 4.11. 情報更新管理
 - 4.11.1. テナント環境セットアップ処理内容
- 4.12. ショートカットURL
 - 4.12.1. テナント環境セットアップ処理内容
- 5. IM-共通マスタ
 - 5.1. テナント環境セットアップ
 - 5.1.1. セットアップ設定ファイル
 - 5.1.2. テーブル一覧
 - 5.1.3. テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行
 - 5.1.4. テナントマスタ情報のインポート
 - 5.1.5. 拡張インポートの実行
 - 5.2. データ移行仕様
 - 5.2.1. 会社毎にデータ作成
 - 5.2.2. 法人セットの法人情報を移行
 - 5.2.3. 法人セットの法人内包を移行
 - 5.2.4. 法人セットを移行
 - 5.3. (付録)参考資料
- 6. ポータル
 - 6.1. 制限事項の補足
 - 6.2. 移行可否一覧
 - 6.3. テナント環境セットアップ
 - 6.3.1. セットアップ設定ファイル
 - 6.3.2. テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行
 - 6.3.3. テナントマスタ情報のインポート
 - 6.3.4. 拡張インポートの実行
- 7. ViewCreator
 - 7.1. テナント環境セットアップ
 - 7.1.1. セットアップ設定ファイル
 - 7.1.2. テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

- 7.1.3. テナントマスタ情報のインポート
- 7.1.4. 拡張インポートの実行
- 8. IM-Workflow
 - 8.1. テナント環境セットアップ
 - 8.1.1. セットアップ設定ファイル
 - 8.1.2. テーブル一覧
 - 8.1.3. テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行
 - 8.1.4. テナントマスタ情報のインポート
 - 8.1.5. 拡張インポートの実行
 - 8.2. データ移行仕様
 - 8.2.1. 管理グループ権限プラグイン (imw_m_administration_plugin)
 - 8.3. (付録)参考資料
- 9. IM-ContentsSearch
 - 9.1. 移行しない/できない理由
 - 9.1.1. データ関係
 - 9.1.2. リソース関係
 - 9.1.3. 設定ファイル関係
 - 9.2. セットアップ設定ファイル
 - 9.2.1. ジョブ/ジョブネット
- 10. アプリケーション共通マスタ
 - 10.1. セットアップ設定ファイル
 - 10.1.1. ロール
 - 10.1.2. メニュー
 - 10.1.3. ジョブ/ジョブネット
 - 10.1.4. 認可リソース
 - 10.1.5. 認可サブジェクト
 - 10.1.6. 認可ポリシー
 - 10.1.7. 拡張インポート
- 11. ドキュメントワークフロー (BPW)
 - 11.1. セットアップ設定ファイル
 - 11.1.1. ロール
 - 11.1.2. メニュー
 - 11.1.3. ジョブ/ジョブネット
 - 11.1.4. 認可リソース
 - 11.1.5. 認可サブジェクト
 - 11.1.6. 認可ポリシー
 - 11.1.7. 拡張インポート
- 12. その他
 - 12.1. TableMaintenance
 - 12.1.1. version 7.2 のテーブルについて
 - 12.2. IM-FormatCreator
 - 12.2.1. version 7.2 のテーブルについて

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2015-12-01	初版
------------	----

はじめに

本書の目的

本書では、以下の仕様を説明します。

- 移行ツールの全般的な仕様
- 移行ツールに含まれる基盤製品の移行モジュールの仕様
- 互換モジュールのテナント環境セットアップの仕様



コラム

基本的な前提条件や移行手順は「[移行ガイド](#)」を、制限事項は「[制限事項](#)」を参照してください。



注意

エクステンション/アプリケーション製品の移行仕様は、本書では説明しません。

対象読者

本書は、以下のような利用者を対象としています。

- 移行ツールの仕様を確認したい

前提として、以下の知識が必要です。

- intra-mart WebPlatform / AppFramework
- intra-mart Accel Platform



コラム

特に、テナント環境セットアップについては、よく理解しておく必要があります。
テナント環境セットアップについては、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

本書の構成

本書は、以下のような構成となっています。

- [移行ツール](#)
この章では、移行ツールの全体的な仕様について説明します。
- [アクセスセキュリティ](#)
この章では、アクセスセキュリティ移行モジュールの仕様について説明します。
- [IM-共通マスタ](#)
この章では、IM-共通マスタ移行モジュールの仕様について説明します。
- [ポータル](#)
この章では、ポータル移行モジュールの仕様について説明します。
- [ViewCreator](#)
この章では、ViewCreator移行モジュールの仕様について説明します。
- [IM-Workflow](#)

この章では、IM-共通マスタ移行モジュールの仕様について説明します。

- *IM-ContentsSearch*

この章では、IM-ContentsSearch互換モジュールの仕様について説明します。

- *アプリケーション共通マスタ*

この章では、互換モジュール中のアプリケーション共通マスタに関するテナント環境セットアップ仕様について説明します。

- *ドキュメントワークフロー(BPW)*

この章では、互換モジュール中のドキュメントワークフロー(BPW)に関するテナント環境セットアップ仕様について説明します。

- *その他*

この章では、上記以外の補足事項について説明します。

移行ツール

前提条件の補足

移行対象機能

移行ツールの移行対象機能は、「[移行ガイド](#)」に記載されています。



注意

アーキテクチャが大幅に変更となるため、移行対象機能の全てのデータを移行できるわけではありません。

制限事項の補足

アクセス権全般



注意

基本方針として、アクセス権の移行は行いません。

移行モジュールでは、intra-mart WebPlatform のアクセス権限は可能な限り移行されますが、アーキテクチャが大幅に変更となるため、完全に再現することができません。そのため、intra-mart WebPlatform から移行を行った場合は、認可設定の見直し・再設定が必要です。



コラム

- メニューのみ、一部の情報を認可へ移行しています。

intra-mart WebPlatform を起動させることが可能な場合は、intra-mart WebPlatform を参照しながらの再設定を推奨します。上記が不可の場合、各種エクスポートバッチや、TableMaintenance のエクスポート機能、および、ViewCreator のクエリ機能などで情報を出力し、その情報を参照して再設定を行ってください。

特定機能/製品のための移行

特定の機能や一部製品のための移行はサポートしません。



注意

例えば、アクセスセキュリティのうち、アカウント情報のみを移行することはできません。

概要

モジュールの分類と依存関係

- 移行ツールは、アプリケーションモジュールとして提供されます。
 - 移行ツールの中に、製品/機能ごとの移行モジュールが提供されます。
 - war作成時は、移行元環境でインストールしていた製品に対応した移行モジュールを選択します。



- 移行モジュールは、移行先の intra-mart Accel Platform のモジュールに対し依存関係を持ちます。

コラム

依存関係の例

- IM-共通マスタ 移行モジュールは、intra-mart Accel Platform の「IM-共通マスタ」に依存します。
- IM-Workflow 移行モジュールは、intra-mart Accel Platform の「IM-Workflow ポートレット」に依存します。
(version 7.2 の IM-Workflowは、IM-Workflow用のポートレットが提供されており、移行時にはポートレットの移行も必要になるため)

データ移行処理

- 移行ツールが行うデータ移行処理は、テナント環境セットアップで行います。

移行ツールのアップデート

- 移行ツールは、version 7.2、および、intra-mart Accel Platform の機能追加や仕様変更に対応するためのアップデートがリリースされる場合があります。
 - version 7.2 に追従する例
 - version 7.2 のテーブル追加や変更に伴う移行
 - intra-mart Accel Platform に追従する例
 - intra-mart Accel Platform の追加機能に対する移行 (version 7.2に該当する機能がある場合に限る)

注意

intra-mart Accel Platform の追加機能に対する移行が行われる可能性があるため、移行したテナントに対してテナント環境セットアップを行う際は、移行モジュールが **必要**です。

一方、「バーチャルテナントによる複数テナント」環境に対してテナント環境セットアップを行う際は、移行モジュールは **含めません**。

詳しくは、以下を参照してください。

- 移行後の「バーチャルテナントによる複数テナント」環境の運用について

共通仕様

テーブルに必ず含める項目の移行時の扱い

テーブルに必ず含めることになっている以下の項目に対し、移行では次のように扱うこととします。

作成者	create_user_cd	文字列型	テーブルに「create_user_cd」が存在する場合、既存の値を引き継ぐ。 「create_user_cd」が存在しない場合、「record_user_cd」があれば、その値を引き継ぐ。 どちらも存在しないか、上記カラムの値が null の場合、「system」をセットする。
作成日	create_date	タイムスタンプ型	テーブルに「create_date」が存在する場合、既存の値を引き継ぐ。 「create_date」が存在しない場合、「record_date」があれば、その値を引き継ぐ。 どちらも存在しないか、上記カラムの値が null の場合、現在日時をセットする。
最終更新者	record_user_cd	文字列型	テーブルに「record_user_cd」が存在する場合、既存の値を引き継ぐ。 カラムが存在しないか、値が null の場合、「system」をセットする。
最終更新日	record_date	タイムスタンプ型	テーブルに「record_date」が存在する場合、既存の値を引き継ぐ。 カラムが存在しないか、値が null の場合、現在日時をセットする。

コラム

上記カラムに対するその他の方針は以下の通りです。

- 全て not null 制約を付与する。
- 初回登録時には、作成者=最終更新者、作成日=最終更新日とする。
- version 7.2 から存在していたテーブルだけではなく、intra-mart Accel Platform から新設されたテーブルでも移行対象であれば対応する。
 - 例えば、b_m_account_theme テーブルは、intra-mart Accel Platform から新たに追加されたテーブルですが、version 7.2 のメインページパターン&カラーパターン から intra-mart Accel Platform のテーマに移行するため、移行対象テーブルに該当します。

注意

カラム名が異なるが意味合いとして上記カラムに相当するカラムを持っている場合、既存の値を優先します。

version 7.2 から継続して利用されるテーブルのカラム順序の方針

intra-mart Accel Platform の新規構築時と、version 7.2 からの移行時において、カラムの定義順序が同じであることは保証されません。(ALTER TABLE tbl_name ADD column_name を利用して移行する場合があるため)

コラム

カラムの定義順序が異なることにより、「新規構築したテナント」と「移行されたテナント」で表示に差異が発生する場合があります。例えば、ViewCreator や TableMaintenance など、テーブル定義情報を表示する機能において、「新規構築したテナント」と「移行されたテナント」でカラム表示順序が異なります。

version 7.2 のテーブルをリネームして残す場合の名前の方針

version 7.2 のテーブルをリネームして残す場合、サフィックスに “_72” を付与します。

- テーブル名の文字列長制限の影響で “_72” を付与できない場合は、テーブル名を省略します。
- “_72” サフィックスは省略しません。

テナント環境セットアップ

セットアップ設定ファイル

- 移行モジュールは、移行先モジュールのセットアップ設定ファイルを差し替えます。
 - 移行先モジュールのセットアップ設定ファイルと同パス・同名の設定ファイルを定義することにより、差し替えを行います。（この方法は、テナント環境セットアップ用の資材が依存関係順に展開される仕組みを利用しています。）
 - 移行モジュールが差し替えるセットアップ設定ファイルは、移行先モジュールのセットアップ設定ファイルの内容を元に、移行に必要な処理だけを書き換えたファイルになります。



コラム

必要に応じて、移行モジュール独自のセットアップ設定ファイルを使用する場合があります。

- スキーマバージョンは、移行先モジュールのセットアップ設定ファイルと同じです。

インポートファイル名

- 移行モジュールで用意するインポートファイル（DDL/DMLファイル、テナントマスタ情報のインポートファイルなど）のファイル名、または、格納先ディレクトリパス名には「migration」の文字列を付与することが推奨されています。
 - これにより、移行モジュールが用意したファイルをインポートしたことが、テナント環境セットアップの結果やログから確認することができます。

内部処理

移行モジュールは、テナント環境セットアップで以下の処理を行います。



コラム

以降で説明する処理の記載順序と、テナント環境セットアップ時の処理順序は異なります。各処理は、テナント環境セットアップの仕様に従った順序で実行されます。

テーブル定義を intra-mart Accel Platform 標準状態にする

次のような方法で、intra-mart Accel Platform 標準のテーブルが作成された状態にします。

- 例) DDL (CREATE)
intra-mart Accel Platform の新規テーブルを CREATE する。
- 例) DDL (RENAME→CREATE)
version 7.2 と intra-mart Accel Platform のテーブルの差異が大きく、version 7.2 のデータを後で利用する場合に、version 7.2 のテーブル名を変更し、intra-mart Accel Platform のテーブルを CREATE する。
- 例) DDL (ALTER)
version 7.2 と intra-mart Accel Platform のテーブルの差異が小さい場合に、ALTER で変更する。

version 7.2 のデータを移行する

次のような方法で、version 7.2 のデータを intra-mart Accel Platform に移行します。

- 例) DDL/DML (SELECT INSERT)
version 7.2 のデータを加工しつつ、intra-mart Accel Platform のテーブルに INSERT する。

コラム

intra-mart Accel Platform 標準のテーブルの作成に「RENAME→CREATE方式」を、version 7.2 のデータ移行に「SELECT INSERT方式」を採用した場合の例

1. version 7.2 テーブル RENAME
2. intra-mart Accel Platform テーブル CREATE
3. RENAME 済み version 7.2 テーブルから SELECT INSERT
4. RENAME 済み version 7.2 テーブルを DROP

- 例) DML (UPDATE)
テーブル定義変更が ALTER で済むような場合に、既存データに対し intra-mart Accel Platform 形式になるようにデータを UPDATE する。
- 例) 拡張インポート(任意のSQLやAPI使用)
version 7.2 のテーブルやエクスポートファイルからデータを取得し、intra-mart Accel Platform のAPI等で登録/更新する。

不要テーブルを削除する

以下のようなテーブルを削除します。

- version 7.2 からコピーしたテーブルのうち、残したままだと intra-mart Accel Platform の運用に支障をきたすテーブル
- 移行処理中に作成したワークテーブル

コラム

残しても intra-mart Accel Platform 運用に支障をきたさない場合、原則として移行処理では **削除しません**。これは、システム的には不要になっても、ユーザアプリケーションで使用している可能性があるためです。

コラム

本仕様書中で触れられていない場合、テーブルがそのまま残っています。

intra-mart Accel Platform の初期データを投入する

intra-mart Accel Platform 標準で登録される各種データを登録します。

コラム

移行 先 モジュールのセットアップ設定ファイルに定義されていた、intra-mart Accel Platform 標準で登録される各種インポートが該当します。

なお、以下のようなリソースは intra-mart Accel Platform 標準のものを優先します。

- メニュー
- ジョブ/ジョブネット
- Webサービス
- ポートレット

アクセスセキュリティ

テナント環境セットアップ

セットアップ設定ファイル

セットアップ設定ファイルの仕様は、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

差し替え

モジュール	テナント管理機能
ショートモジュールID	im_tenant
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_tenant
ファイル名	import-im_tenant-config-1.xml

アクセスセキュリティ 移行モジュール 独自

モジュール	アクセスセキュリティ 移行モジュール
ショートモジュールID	im_access_security_migration
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_access_security_migration
ファイル名	import-im_access_security_migration-config-1.xml

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

各機能の詳細を参照してください。

テナントマスタ情報のインポート

差し替え元の内容に従います。

拡張インポートの実行

各機能の詳細を参照してください。

アカウント

制限事項の補足

- アカウントの一部の項目が、アカウントの持つ属性として移行されます。
 - 互換APIでの取得は行えますが、intra-mart Accel Platform APIでは取得できなくなります。
- 「MainPageSimple」は「6.x風テーマ(im_theme_60系)」に移行します。
 - 「7.x風テーマ(im_theme_70_simple系)」が提供されていないため。
- アカウントの属性値に「null」または「空文字列」がセットされているデータは削除されます。

なお、アプリケーションでアカウントの属性値に「null」または「空文字列」をセットした場合、使用する API により動作が変わります。

- 互換API：属性を削除します
- 標準API：例外が発生します

注意

業務アプリケーションで「null」または「空文字列」を属性にセットすることがある場合、例えば以下のような対応が必要です。

- 設定時
 - 値に意味が無く、キーのみの有無を判定したい場合、値にダミーの文字列を設定する。
 - 値に意味が有り、「null」または「空文字列」にも意味がある場合、その意味を表す文字列を設定する。
- 取得時
 - 「値が空 (nullまたは空文字列) かどうか」の判定を行っていた場合、「データが0件か」の判定に変更する。

テナント環境セットアップ処理内容

テナント管理機能のセットアップ設定ファイルを差し替え、以下の処理を行います。

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. 新規テーブル作成

標準と同じDDLを実行し、以下のテーブルを作成します。

- 日付と時刻の形式(アカウント) (b_m_account_dtf)
- アカウントテーマ (b_m_account_theme)

2. テーブル定義変更とデータ移行

詳細はこの後の「テーブル定義変更とデータ移行仕様」を参照してください。

拡張インポートの実行

1. アカウントライセンス登録

version 7.2のアカウントCSVエクスポートファイルをインポートし、アカウントライセンスを登録します。

- 「ユーザコード」「ライセンス」のみを処理の対象とします。
- ライセンスが true の場合、該当のユーザに対し、ライセンスを登録します。
- ファイルフォーマットは、version 7.2 の [<%im_path%>/specification/dtd/account_csv_format.txt](#) を参照してください。

注意

アプリケーションロール(アプリケーションライセンス)は、該当製品の移行手順に従ってください。

テーブル定義変更とデータ移行仕様

アカウント (b_m_account_b)

項目名	列名	変更内容
ユーザID	user_id	列名を user_cd に変更、サイズを50から100に変更
ロケール	locale	列名を locale_id に変更
モバイル用パスワード	mobile_password	データを属性 (b_m_account_attr_b) に登録 (キー:"im_compatible_mobile_password")し、カラム削除
有効開始日	valid_start_date	型をTIMESTAMPに変更
有効終了日	valid_end_date	型をTIMESTAMPに変更
外出フラグ	go_out	データを属性 (b_m_account_attr_b) に退避 (キー:"im_compatible_go_out")し、カラム削除
アカウントロック日付	lock_date	型をTIMESTAMPに変更
メインページパターン	page_pattern_id	設定されている場合は該当するテーマID (theme_id) を 「b_m_account_theme」テーブルにセットしたうえで、カラム削除
ページカラーパターン	color_pattern_id	設定されている場合は該当するテーマID (theme_id) を 「b_m_account_theme」テーブルにセットしたうえで、カラム削除
最終更新者	record_user_cd	NOT NULL制約を追加 (NULLだった場合は"system"をセット)、サイズ を50から100に変更
最終更新日	record_date	型をTIMESTAMPに変更
(追加項目)	time_zone_id	未設定
(追加項目)	calendar_id	未設定
(追加項目)	first_day_of_week	-1
(追加項目)	create_user_cd	最終更新者 (record_user_cd) をセット
(追加項目)	create_date	最終更新日 (record_date) をセット

アカウントテーマ (b_m_account_theme)

項目名	列名	変更内容
ユーザコード	user_cd	b_m_account_b.user_cd
クライアントタイプID	client_type_id	"pc"をセット
テーマID	theme_id	メインページパターン&カラーパターン → テーマ 対応表 に従い、 「b_m_account_b」テーブルから決定されたテーマIDをセット
作成者	create_user_cd	b_m_account_b.create_user_cd
作成日	create_date	b_m_account_b.create_date
最終更新者	record_user_cd	b_m_account_b.record_user_cd
最終更新日	record_date	b_m_account_b.record_date

アカウント属性 (b_m_account_attr_b)

項目名	列名	変更内容
ユーザID	user_id	列名を user_cd に変更、サイズを50から100に変更
属性値	attr_value	NOT NULL制約を追加、NULLまたは空文字のデータは事前に削除
最終更新者	record_user_cd	NOT NULL制約を追加 (NULLだった場合は"system"をセット)、サイズを50から100に変更
最終更新日	record_date	型をTIMESTAMPに変更
(追加項目)	create_user_cd	最終更新者 (record_user_cd) をセット
(追加項目)	create_date	最終更新日 (record_date) をセット

アカウント付与ロール (b_m_account_role_b)

項目名	列名	変更内容
ユーザID	user_id	列名を user_cd に変更、サイズを50から100に変更
有効開始日	valid_start_date	型をTIMESTAMPに変更
有効終了日	valid_end_date	型をTIMESTAMPに変更
最終更新者	record_user_cd	NOT NULL制約を追加 (NULLだった場合は"system"をセット)、サイズを50から100に変更
最終更新日	record_date	型をTIMESTAMPに変更
(追加項目)	create_user_cd	最終更新者 (record_user_cd) をセット
(追加項目)	create_date	最終更新日 (record_date) をセット

ロール

制限事項の補足

制限事項の補足はありません。

テナント環境セットアップ処理内容

テナント管理機能のセットアップ設定ファイルを差し替え、以下の処理を行います。

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル定義変更とデータ移行
詳細はこの後の「テーブル定義変更とデータ移行仕様」を参照してください。

拡張インポートの実行

拡張インポートで行う処理はありません。

テーブル定義変更とデータ移行仕様

ロール (b_m_role_b)

項目名	列名	変更内容
最終更新者	record_user_cd	NOT NULL制約を追加 (NULLだった場合は"system"をセット)、サイズを50から100に変更
最終更新日	record_date	型をTIMESTAMPに変更
(追加項目)	create_user_cd	最終更新者 (record_user_cd) をセット
(追加項目)	create_date	最終更新日 (record_date) をセット

ロール国際化 (b_m_role_i)

項目名	列名	変更内容
(追加項目)	record_user_cd	b_m_role_b.record_user_cd
(追加項目)	record_date	b_m_role_b.record_date
(追加項目)	create_user_cd	b_m_role_b.create_user_cd
(追加項目)	create_date	b_m_role_b.create_date

ロール内包 (b_m_role_inclusion_b)

項目名	列名	変更内容
最終更新者	record_user_cd	NOT NULL制約を追加 (NULLだった場合は"system"をセット)、サイズを50から100に変更
最終更新日	record_date	型をTIMESTAMPに変更
(追加項目)	create_user_cd	最終更新者 (record_user_cd) をセット
(追加項目)	create_date	最終更新日 (record_date) をセット

ロールサマリ (b_m_role_summary_b)

項目名	列名	変更内容
最終更新者	record_user_cd	NOT NULL制約を追加 (NULLだった場合は"system"をセット)、サイズを50から100に変更
最終更新日	record_date	型をTIMESTAMPに変更
(追加項目)	create_user_cd	最終更新者 (record_user_cd) をセット
(追加項目)	create_date	最終更新日 (record_date) をセット

カレンダー

移行の基本方針は以下の通りです。

- 移行する
 - 名称

- 休日
- 非休日
- 移行しない
 - 公休日
 - 「名称/休日/非休日」のうち、プラグインがセットされたもの

制限事項の補足

1. intra-mart Accel Platform には、プラグイン機能が提供されていないため、プラグインをセットしたカレンダーデータは移行しません。
2. version 7.2 標準で設定されている「名称」の「月～土曜日」および「休日」の「日曜日」は、そのまま、名称や休日として移行されます。
 - intra-mart Accel Platform ではカレンダーごとに曜日設定が可能なため、情報が重複しないよう、必要に応じて再設定してください。
 - なお、移行モジュールでは、曜日のカラーと休日判定は、以下のように設定します。

曜日	カラー	休日判定
日曜	#ff0000	休日
月～金曜	#000000	
土曜	#0000ff	

3. 国際化項目は version 7.2 に存在する言語のみ移行されます。
 - intra-mart Accel Platform は標準で日英中に対応しているので、必要に応じて追加設定してください。
4. version 7.2 のテーブルはリネームして残します。
 - テーブルと名称
 - b_m_calendar_info_b → b_m_calendar_info_b_72
 - b_m_calendar_info_i → b_m_calendar_info_i_72
 - APIからこれらのテーブルにアクセスすることは出来ません。
 - 上記テーブルは、今後プラグイン情報の移行時に必要となる予定ですので、データ削除やテーブル削除は行わないでください。
5. 日付情報テーブルの無効値が変更されます。
 - 以下の項目は、version 7.2 では無効値として-1がセットされていましたが、intra-mart Accel Platform では NULLに変更されます。

項目名	列名
年	year
月	month
日	day
週	week
次	times
曜日	day_week
有効開始年	valid_start_year
有効終了年	valid_end_year

テナント環境セットアップ処理内容

テナント管理機能のセットアップ設定ファイルを差し替え、以下の処理を行います。

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. 既存の2テーブルをリネーム

version 7.2 テーブル名称	リネーム後テーブル名称
b_m_calendar_info_b	b_m_calendar_info_b_72
b_m_calendar_info_i	b_m_calendar_info_i_72

2. intra-mart Accel Platform 標準テーブル作成
標準のDDLを使用します。
3. データ移行
詳細はこの後の「データ移行仕様」を参照してください。

拡張インポートの実行

1. カラーコード変換
[カラーコードマッピング](#)に従い、対応するカラーコードに変換します。
2. NOT NULL制約追加
b_m_day_info_b.color カラムにNOT NULL制約を追加を追加します。

データ移行仕様

カレンダー情報(b_m_calendar_info_b)

カレンダーIDごとに、1レコード登録します。

列名	設定内容
calendar_id	b_m_calendar_info_b_72.calendar_id
sort_key	0
create_user_cd	'system'
create_date	現在日時
record_user_cd	'system'
record_date	現在日時

カレンダー国際化(b_m_calendar_info_i)

カレンダーID×ロケールごとに、1レコード登録します。

列名	設定内容
calendar_id	b_m_calendar_info_i_72.calendar_id
locale_id	b_m_calendar_info_i_72.locale_id

列名	設定内容
calendar_name	b_m_calendar_info_i_72.calendar_id
create_user_cd	'system'
create_date	現在日時
record_user_cd	'system'
record_date	現在日時

カレンダー週情報(b_m_calendar_week_b)

カレンダーIDごとに、日～土曜の7レコード登録します。

列名	設定内容
calendar_id	b_m_calendar_info_i_72.calendar_id
day_of_week	日曜:1～土曜:7
color	日曜:#ff0000、月～金曜:#000000、土曜:#0000ff
isholiday	日曜はtrue、それ以外はfalse
create_user_cd	'system'
create_date	現在日時
record_user_cd	'system'
record_date	現在日時

カレンダーマージ設定(b_m_calendar_merge_b)

カレンダーIDごとに、1レコード登録します。

列名	設定内容
calendar_id	b_m_calendar_info_b_72.calendar_id
day_info_set_id	b_m_calendar_info_b_72.calendar_id
sort_key	0
create_user_cd	'system'
create_date	現在日時
record_user_cd	'system'
record_date	現在日時

カレンダー日付情報セット(b_m_day_info_set_b)

カレンダーIDごとに、1レコード登録します。

列名	設定内容
day_info_set_id	b_m_calendar_info_b_72.calendar_id
first_day_of_week	1(日曜)をセット
sort_key	0
create_user_cd	'system'
create_date	現在日時
record_user_cd	'system'
record_date	現在日時

カレンダー日付情報セット国際化(b_m_day_info_set_i)

カレンダーID×ロケールごとに、1レコード登録します。

列名	設定内容
day_info_set_id	b_m_calendar_info_i_72.calendar_id
locale_id	b_m_calendar_info_i_72.locale_id
day_info_set_name	b_m_calendar_info_i_72.calendar_id
create_user_cd	'system'
create_date	現在日時
record_user_cd	'system'
record_date	現在日時

カレンダー日付情報(b_m_day_info_b)

b_m_calendar_info_b_72 をもとにして、以下の条件を全て満たすレコードを登録します。

- データタイプが「名称」「非休日」「休日」のいずれかであること
- プラグイン関数が設定されていないこと

列名	設定内容
day_info_set_id	b_m_calendar_info_b_72.calendar_id
day_info_id	b_m_calendar_info_b_72.data_id
data_type	b_m_calendar_info_b_72.data_type
full_year	b_m_calendar_info_b_72.year、ただしyearが-1のときはnull
month_of_year	b_m_calendar_info_b_72.month -1、ただしmonth が-1のときはnull
day_of_month	b_m_calendar_info_b_72.day、ただしdayが-1のときはnull
week_of_month	b_m_calendar_info_b_72.week、ただしweekが-1のときはnull
day_of_week_in_month	b_m_calendar_info_b_72.times、ただしtimesが-1のときはnull
day_of_week	b_m_calendar_info_b_72.day_week + 1、ただしday_weekが-1のときはnull

列名	設定内容
valid_start_year	b_m_calendar_info_b_72.valid_start_year、ただしvalid_start_yearが-1のときはnull
valid_end_year	b_m_calendar_info_b_72.valid_end_year、ただしvalid_end_yearが-1のときはnull
color	色名に対して、 カラーコードマッピング に従い、対応するカラーコードに変換。NULLや空文字列、マッピングにない文字列等の場合、“#808080”に変換。それ以外はb_m_calendar_info_b_72.colorをセット。NOT NULL制約を追加。
sort_key	v72のソート値に従って並べた順番
create_user_cd	b_m_calendar_info_b_72.record_user_cd
create_date	b_m_calendar_info_b_72.record_date
record_user_cd	カラー変換しない場合、b_m_calendar_info_b_72.record_user_cd。カラー変換した場合、システム管理者ユーザコード。
record_date	カラー変換しない場合、b_m_calendar_info_b_72.record_date。カラー変換した場合、現在日時。

コラム

month_of_year、day_of_week の値は、java.util.Calendar の仕様と合致させるため、下記の値に変更されました。

- [Calendar#MONTH](#)
- [Calendar#DAY_OF_WEEK](#)

この仕様変更にあわせて、month_of_year を -1、day_of_week を +1 した値に変換して移行します。

項目	intra-mart WebPlatform /	
	AppFramework	intra-mart Accel Platform
month_of_year	1~12	0~11
day_of_week	0~6が日~土	1~7が日~土

コラム

intra-mart Accel Platform より設定できるようになった「ソートキー」は、intra-mart WebPlatform / AppFramework の日付情報検索時のソート内容から設定します。
version 7.2 の日付情報検索時のソート内容は以下の通りです。

1. 「年 月 日 曜日 回 週」の順に、設定があれば1を、なければ0とした数値を生成する
 - 「設定なし」は、“-1”が入っています
2. 上記数値に、データタイプの1文字目のASCIIコードを加算する
例)父の日...名称、(毎年)6月、日曜日、第3回目 の場合

1. 数値化

年	月	日	曜日	回	週	数値化結果
-1	6	-1	0	3	-1	010110

2. ASCIIコード加算

データタイプ	1文字目のASCIIコード 値
config	99

$$10110 + 99 = \mathbf{10209}$$

3. 上記2で求めた数値で大小を比較する
もし、同じ値だった場合は、データタイプの1文字目のASCIIコードで大小を比較する

コラム

「表示色 (color)」に色名がセットされている場合、対応するカラーコードに変換します。

- version 7.2 では表示色に対し、APIを使用して色名 (例 “red”) をセットすることができましたが、intra-mart Accel Platform ではカラーコードのみ設定可能となる仕様変更に対応します。
- [カラーコードマッピング](#) に従い、色名をカラーコードに変換します。
- なお、NULLや空文字列、マッピングにない文字列等の場合、“#808080”に変換します。

カレンダー日付情報国際化 (b_m_day_info_i)

b_m_day_info_bに登録されたデータに対して、b_m_calendar_info_i_72をもとにして登録します。

列名	設定内容
day_info_set_id	b_m_calendar_info_i_72.calendar_id
day_info_id	b_m_calendar_info_i_72.data_id
locale_id	b_m_calendar_info_i_72.locale_id
day_info_name	b_m_calendar_info_i_72.display_name
create_user_cd	b_m_calendar_info_b_72.record_user_cd
create_date	b_m_calendar_info_b_72.record_date

列名	設定内容
record_user_cd	カラー変換しない場合、b_m_calendar_info_b_72.record_user_cd。カラー変換した場合、システム管理者ユーザコード。
record_date	カラー変換しない場合、b_m_calendar_info_b_72.record_date。カラー変換した場合、現在日時。

メニュー

移行対象概要

1. メニュー
 - メニューを、サイトマップに移行します。
2. アクセス権→認可
 - メニューの構成を、リソースに登録します。
 - 設定されている権限を、サブジェクトに登録します。
 - トップフォルダの権限を、ポリシーに設定します。
3. ルーティング
 - メニューのURLから、ルーティング設定ファイルを生成します。

移行処理概要

1. テナント管理機能の差し替えによるセットアップ設定ファイルで、intra-mart Accel Platform 標準のテーブルを作成する。
2. アクセスセキュリティ移行ツールのセットアップ設定ファイルで、メニューXMLファイルをインポートする。



コラム

メニューの移行処理で各種サブジェクトに登録するため、「IM-共通マスタ 認可連携モジュール」が必要になります。

制限事項の補足

- メニュー
 - メニューIDはそのまま移行されるため、intra-mart Accel Platform の標準メニューと重複する可能性があります。
 - intra-mart Accel Platform 標準のメニューIDと重なってしまう場合、移行元のデータを修正する必要があります。
- リソース
 - 同一URLが存在する場合、2つ目以降は後ろにメニューIDを付与し、別リソースとして登録します。
- ルーティング
 - ルーティングテーブルはメニューに定義されているパスのみ作成されます。
 - ルーティング設定ファイルは、メンテナンスしたうえで、ユーザモジュールに含めることを推奨します。

**注意**

war展開フォルダへの直接配置は非推奨です。
再デプロイ時には、資材を再配置する必要があります。

- 同一URLが存在する場合、mappingの設定が同一になります。
 - リソースIDはメニューIDが付加されるため異なりますが、同一mappingの設定は、後から設定されたものが有効となります。
 - メニュー(URL)に対する権限設定等が、最後に設定されたmappingのリソースに紐付くことになります。
- テーマ
 - theme-no-theme-path-config 設定ファイルは自動では追加されません。
 - 必要に応じて設定の追加を行ってください

テナント環境セットアップ(テナント管理機能差し替え)処理内容

テナント管理機能のセットアップ設定ファイルを差し替え、以下の処理を行います。

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. 既存テーブル削除
以下のテーブルをDROPします。
 1. b_m_menu_b
 2. b_m_menu_i
 3. b_m_menu_argument_b
 4. b_m_menu_department_b
 5. b_m_menu_post_b
 6. b_m_menu_public_group_b
 7. b_m_menu_role_b
2. intra-mart Accel Platform 標準テーブル作成
標準のDDLを使用します。

テナント環境セットアップ(アクセスセキュリティ移行ツール)処理内容

アクセスセキュリティ移行ツールのセットアップ設定ファイルを用意し、以下の処理を行います。

拡張インポートの実行

1. メニュー移行処理
詳細はこの後の「メニュー移行処理仕様」を参照してください。

メニュー移行処理仕様

メニュー移行処理概要

- version 7.2 でエクスポートしたメニューXMLファイルをベースに、intra-mart Accel Platform の以下の資源を作成しま

す。

- メニュー:メニューグループカテゴリ、メニューグループ、メニューアイテム
- 認可:リソース、リソースグループ、サブジェクト、サブジェクトグループ、ポリシー
- ルーティングテーブル:jssp、service、servlet
- 各クライアントタイプごとに、サイトマップへ移行用のメニューグループを作成し、そのグループへデータを移行します。
- 各メニューアイテムの権限は version 7.2 の情報から移行します。
 - メニューグループの権限は付与しません。(メニューグループのルートリソースを継承)
- ルーティングテーブルは、メニューに定義されているパスのみ作成します。
- メニューフォルダごとにリソースグループを作成します。
- フォルダやアイテムに設定された権限をリソース(リソースグループ)に対して付与します。

メニュー

各クライアントタイプごとに、サイトマップに移行用のメニューグループを1つ作成し、そこに移行します。

1. メニューグループカテゴリ

- サイトマップを移行情報の登録先とします。
- インポートファイル上に存在するクライアントタイプによって、必要であれば以下のルールでカテゴリを追加します。

ID	“im_sitemap_” + クライアントタイプ
名称	“サイトマップ(” + クライアントタイプ + “)”
更新	不可
選択	不可

2. メニューグループ

- 各クライアントタイプ毎に、以下のルールで作成します。

メニューグループカテゴリ	“im_sitemap_” + クライアントタイプ
メニューグループID	“im_migrated_” + クライアントタイプ
名称	“v72移行メニュー”

- インポートデータ中に親のないフォルダ、アイテム(トップ)を見つけた場合、このグループの配下として登録します。

3. メニューアイテム

- フォルダはフォルダとして、ページはメニューアイテムとして、ツリー構成を維持して移行します。

引数	インポートデータの同項目
説明	インポートデータの同項目
名称	インポートデータの同項目
メニューID	インポートデータの同項目
画像ファイルパス	インポートデータの同項目
Method	POST
コピー元メニューID	インポートデータのメニューID

ソート番号	インポートデータの同項目
データ種別	インポートデータの同項目
URL	インポートデータの同項目
Iframe	true
ポップアップ	false

**注意**

contents要素 (IN, OUT) は移行できません。

認可

メニューと同じ構成でリソースを作成し、アクセス権が再設定しやすいようにサブジェクトを登録しつつ、トップに対してポリシーを設定します。

1. リソースグループ

- インポートデータ中に親のないフォルダ、アイテム(トップ)を見つけた場合、「http-services (画面・処理)」グループの配下として登録します。
- メニューフォルダごとにリソースグループを作成します。

リソースグループID	メニューID
名称	メニュー名称

- メニューのフォルダ構成同様にリソースグループを構成します。
- フォルダに設定された権限をリソースグループに対して付与します。

2. リソース

- メニューアイテムを、リソースとして登録します。

リソース ID	メニューID
名称	メニュー名称
URI	“service://” + URLから先頭の”/”を削除した文字列 URLが取得できない場合、”service://menu_migration/” + メニューID 同じURLが複数出てきた場合、2つ目以降は上記で生成したURIの後ろに”/” + メニューID」 を付加

3. サブジェクト、サブジェクトグループ

- インポートデータに設定されている権限から単体のサブジェクト式をそれぞれ作成します。

i コラム

version 7.2 で設定可能な権限

- ロール
- 組織
- 役職
- パブリックグループ

※ version 7.2 ではパブリックグループの「役割」によるアクセス権設定はありません。

※ 付加条件は以下のように取り扱います。

ロール	なし
組織	一致
役職	一致
パブリックグループ	一致

4. ポリシー

- intra-mart Accel Platform のバージョンにより、最終的に設定されるポリシーが変わります。例として、以下の権限が設定されているメニューを移行した場合の動作を説明します。

	サンプル 部門01	サンプル 課11	サンプル 課12	サンプル 部門02	サンプル 課21	サンプル 課22
トップフォルダ	権限あり	権限あり	権限あり	権限あり	権限なし	権限なし
└ 2階層目	権限あり	権限あり	権限なし	権限なし	権限なし	権限あり
└ サンプルメニュー	権限あり	権限なし	権限あり	権限なし	権限あり	権限なし

- intra-mart Accel Platform 2013 Autumn(Eden) 以降のバージョンに移行する場合
 - 最終的に、以下のような権限設定が行われます。

	サンプル 部門01	サンプル 課11	サンプル 課12	サンプル 部門02	サンプル 課21	サンプル 課22
トップフォルダ	許可	許可	許可	許可	未設定(禁止)	未設定(禁止)
└ 2階層目	未設定(許可)	未設定(許可)	禁止	禁止	未設定(禁止)	未設定(禁止)
└ サンプルメニュー	未設定(許可)	禁止	未設定(禁止)	未設定(禁止)	未設定(禁止)	未設定(禁止)

- メニューグループ直下(トップ)のフォルダ、または、アイテムの場合、相当するリソース(またはリソースグループ)に対して、指定通りに「許可(permit)」を設定します。
- トップ以外(配下のフォルダ、メニュー)の場合、相当するリソース(またはリソースグループ)に対して、親と自身の権限によって「禁止(deny)」を設定します。

親の権限	自身の権限	設定される権限
あり	あり	未設定(許可)
あり	なし	禁止
なし	あり	未設定(禁止)
なし	なし	未設定(禁止)



注意

intra-mart Accel Platform 2013 Summer(Damask) 以前のバージョンですでに移行作業を行っている場合は、権限設定内容は変わりません。

- intra-mart Accel Platform 2013 Summer(Damask) 以前のバージョンに移行する場合
 - 最終的に、以下のような権限設定が行われます。

	サンプル 部門01	サンプル 課11	サンプル 課12	サンプル 部門02	サンプル 課21	サンプル 課22
トップフォルダ	許可	許可	許可	許可	未設定(禁止)	未設定(禁止)
2階層目	未設定(許可)	未設定(許可)	未設定(許可)	未設定(許可)	未設定(禁止)	未設定(禁止)
サンプルメニュー	未設定(許可)	未設定(許可)	未設定(許可)	未設定(許可)	未設定(禁止)	未設定(禁止)

- メニューグループ直下(トップ)のフォルダ、または、アイテムの場合、相当するリソース(またはリソースグループ)に対して、指定通りに「許可(permit)」を設定します。
- トップ以外(配下のフォルダ、メニュー)の場合、何も設定しません。



コラム

上記のような方針にしている理由は、権限のデータをそのまま転記する形では元のようなアクセス制限を行えないためです。

したがって、移行後は意図した権限設定になるよう認可を再設定する必要があります。

- version 7.2 のメニューでは、上位のフォルダの権限がない場合、下位のアイテムを閲覧することができません。
 - 上位の権限情報から評価されていき、結果的にはAND条件となります。
- intra-mart Accel Platform の認可では、フォルダには認可設定が無く、(下位の)アイテム自体の権限で評価されます。
 - 権限のデータをそのまま転記する形では、元のようなアクセス制限を行えません。

ルーティングテーブル

メニューXMLファイルに定義されているURLに対し、ルーティングテーブルを作成します。

- メニューアイテムでないデータや、外部ページ(contents要素が"out")のデータは対象外とします。



コラム

外部ページが設定されたメニューの表示・非表示に関する設定方法は、以下を参照してください。

- <http://imfaq.intra-mart.jp/imqa/faq/detail.asp?balD=1&FAQID=415>

- URL(path)をもとに、どのルーティングテーブルに乗せるかを判断します。

元のURL	ルーティングテーブル
*.jsp	routing-jssp-config
*.service	routing-service-config
その他	routing-servlet-config

- URLから、ルーティングテーブルに乗せる値を分析します。

- jssp (スクリプト開発モデル)
 - URLから、".jssp"を除いた値を page に設定します。
例) foo/bar.jssp -> page="foo/bar"
- service (JavaEE開発モデル)
 - URLから、アプリケーションID と サービスID を解析して、application と service に設定します。
例) foo-bar.service -> application="foo", service="bar"
- servlet (サーブレット)
 - URL をそのまま、servlet に設定します。
例) foo/bar -> servlet="foo/bar"
- リソースURI はメニュー(リソース)の設定と同じです。

(付録) 参考資料

内部的な構造

import	export
menu.xml	—┐(1) → Menu Group Category
	└(2) → Menu Group / Menu Item
	└(3) → ResourceGroup / Resource
	└(4) → SubjectGroup / Subject
	└(5) → Policy
└(6) → Routing Info	—┐ → routing-jssp-config
	└ → routing-service-config
	└ → routing-servlet-config

- メニューに関する移行処理の実装は、version 7.2 メニューXMLファイルを解釈して各テーブルに登録するインポータ、登録された情報からルーティングテーブルを出力するエクスポートで構成されています。
- インポータは、メニュー、および、認可の情報を直接 intra-mart Accel Platform のDBに登録します。
 - ルーティング情報に関しては中間情報を移行処理専用のファイル(Storage)に出力します。
- エクスポートは、上記の中間情報から必要なルーティングテーブルの設定ファイルを出力します。
 - これはStorage上に出力するので、実際に利用するためには WEB-INF/conf 配下に配置後、再起動する必要があります。
- 中間情報ファイルは、正常終了時に削除します。

クライアントタイプ

- クライアントタイプはメニューツリーの先頭のノード(親を持たないフォルダ)のクライアントタイプのみチェックし、どのカテゴリに属させるかを決めます。
- ルーティングテーブルには特にクライアントタイプを設定しません。

グループ管理権限ユーザメニュー

データは移行されません。

移行しない/できない理由

- 基本方針「[アクセス権全般](#)」に則り、アクセス権の移行は行わない。
- グループの概念が廃止され、グループ管理者メニューと一般ユーザメニューが統合された。

テナント環境セットアップ処理内容

処理は行いません。

コラム

関係するテーブル

- 管理者権限ユーザメニュー管理 (b_m_admin_user_menu)

上記テーブルは削除されないため、ViewCreator や TableMaintenance から参照することが可能です。

バッチ

データは移行されません。

移行しない/できない理由

- ジョブスケジューラになり、設定が大きく変わった。
- 製品標準のバッチは、ジョブスケジューラとしてインストールされる。
- 互換バッチを使用するには、互換モジュールが必要になる。
(互換モジュールを含めるかどうかは環境構築を行うユーザが判断するため、互換モジュールが必要な処理のデータ移行は行いません)

テナント環境セットアップ処理内容

処理は行いません。

コラム

関係するテーブル

- バッチ情報 (b_m_batch_b)

上記テーブルは削除されないため、ViewCreator や TableMaintenance から参照することが可能です。

Webサービスアクセス

データは移行されません。

移行しない/できない理由

- 基本方針「[アクセス権全般](#)」に則り、アクセス権の移行は行わない。
- 製品標準のWebサービスは、intra-mart Accel Platform 版がインストールされる。
- ユーザモジュールには、認可対応が必要になる。

テナント環境セットアップ処理内容

処理は行いません。

コラム

関係するテーブル

- Webサービス・アクセス情報 (b_m_ws_access_b)
- Webサービス・アクセス情報の利用権限を保有するロール (b_m_ws_access_role_b)

上記テーブルは削除されないため、ViewCreator や TableMaintenance から参照することが可能です。

パスワード履歴

データは移行せず、テーブルレイアウトを変更します。

テナント環境セットアップ処理内容

テナント管理機能のセットアップ設定ファイルを差し替え、以下の処理を行います。

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル定義変更
 - 以下のテーブルをDROPした後、標準DDLでCREATEします。
 - パスワード履歴 (b_m_password_history)

パスワードリマインダ

制限事項の補足

注意

パスワードリマインダの移行は、intra-mart Accel Platform 2014 Spring(Granada) 以降で利用可能です。

テナント環境セットアップ処理内容

テナント管理機能のセットアップ設定ファイルを差し替え、以下の処理を行います。

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル定義変更とデータ移行
 - 詳細はこの後の「テーブル定義変更とデータ移行仕様」を参照してください。

拡張インポートの実行

拡張インポートで行う処理はありません。

テーブル定義変更とデータ移行仕様

パスワードリマインダ (b_m_password_reminder_info)

項目名	列名	変更内容
リマインダID	id	変更なし
有効フラグ	enable_flag	カラム削除
URLの有効期間	url_limit_days	変更なし
URLの有効期限日付 フォーマット	url_limit_date_format	変更なし
パスワード変更画面 パス	program_path	変更なし
Fromアドレス	mail_from	変更なし
ReplyToアドレス	mail_reply_to	変更なし
Ccアドレス	mail_cc	変更なし
Bccアドレス	mail_bcc	変更なし
(追加項目)	create_user_cd	最終更新者 (record_user_cd) をセット
(追加項目)	create_date	最終更新日 (record_date) をセット
(追加項目)	record_user_cd	最終更新者 (migration) をセット
(追加項目)	record_date	最終更新日 (現在日付) をセット

情報更新管理

データは移行せず、テーブルレイアウトを変更します。

テナント環境セットアップ処理内容

テナント管理機能のセットアップ設定ファイルを差し替え、以下の処理を行います。

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル定義変更

以下のテーブルをDROPした後、標準DDLでCREATEします。

- 情報更新管理 (b_m_update_info)

ショートカットURL

データは移行せず、テーブルレイアウトを変更します。

テナント環境セットアップ処理内容

テナント管理機能のセットアップ設定ファイルのスキーマバージョン"2"を差し替え、以下の処理を行います。

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル定義変更

以下のテーブルをDROPした後、標準DDLでCREATEします。

- ショートカット情報 (b_m_shortcut_info)
- 許可ユーザ (b_m_shortcut_user)
- ショートカット引数 (b_m_shortcut_param)

IM-共通マスタ

テナント環境セットアップ

セットアップ設定ファイル

セットアップ設定ファイルの仕様は、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

差し替え

モジュール	IM-共通マスタ
ショートモジュールID	im_master
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_master
ファイル名	import-im_master-config-1.xml

テーブル一覧

intra-mart Accel Platform のIM-共通マスタテーブル一覧と、退避テーブル有無、version 7.2 からの変更点、および、データ移行内容は以下の通りです。

No	シノニム名称	テーブル名称	退避	変更点	データ移行
1	会社グループ	imm_company_grp	有り	無し	そのまま
2	会社グループ所属	imm_company_grp_ath	有り	無し	そのまま
3	会社グループ内包	imm_company_grp_inc_ath	有り	無し	そのまま
4	会社グループセット	imm_company_grp_set		「備考」削除	そのまま(備考も削除しない)
5	会社	imm_company		無し	そのまま
6	役職	imm_company_post	有り	無し	そのまま
7	組織	imm_department	有り	無し	そのまま
8	組織所属	imm_department_ath	有り	無し	そのまま
9	組織所属役職	imm_department_post_ath	有り	無し	そのまま
10	会社組織内包	imm_department_inc_ath	有り	無し	そのまま
11	会社組織セット	imm_department_set		無し	そのまま
12	組織分類	imm_department_ctg		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
13	組織分類項目	imm_department_ctg_itm		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
14	組織分類所属	imm_department_ctg_ath	有り	無し	そのまま
15	法人グループ	imm_corporation_grp	有り	新規テーブル	法人セットの法人情報を移行
16	法人グループ所属	imm_corporation_grp_ath	有り	新規テーブル	なし

No	シノニム名称	テーブル名称	退避	変更点	データ移行
17	法人グループ内包	imm_corporation_grp_inc_ath	有り	新規テーブル	法人セットの法人内包を移行
18	法人グループセット	imm_corporation_grp_set		新規テーブル	法人セットを移行
19	法人	imm_corporation	有り	「会社コード」追加、 「法人セットコード」削除	なし
20	法人所属	imm_corporation_ath	有り	「法人セットコード」削除	なし
21	法人分類	imm_corporation_ctg		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
22	法人分類項目	imm_corporation_ctg_itm		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
23	法人分類所属	imm_corporation_ctg_ath	有り	「会社コード」追加、 「法人セットコード」削除	なし
24	取引先	imm_customer	有り	無し	そのまま
25	取引先分類	imm_customer_ctg		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
26	取引先分類項目	imm_customer_ctg_itm		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
27	取引先分類所属	imm_customer_ctg_ath	有り	無し	そのまま
28	品目カテゴリ	imm_item_category	有り	「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
29	品目カテゴリ所属	imm_item_category_ath	有り	無し	そのまま
30	品目カテゴリ内包	imm_item_category_inc_ath	有り	「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
31	品目カテゴリセット	imm_item_category_set		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
32	品目	imm_item	有り	無し	そのまま
33	品目分類	imm_item_ctg		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
34	品目分類項目	imm_item_ctg_itm		「会社コード」追加	会社毎にデータ作成
35	品目分類所属	imm_item_ctg_ath	有り	無し	そのまま
36	通貨	imm_currency		「会社コード」追加、 「有効桁数」削除	なし
37	通貨換算コード	imm_currency_conversion		新規テーブル	なし
38	通貨精度	imm_currency_precision		新規テーブル	なし
39	通貨レート	imm_currency_rate	有り	「会社コード」「通貨換算コード」「削除フラグ」追加	なし
40	ユーザ	imm_user	有り	無し	そのまま
41	ユーザ分類	imm_user_ctg		無し	そのまま
42	ユーザ分類項目	imm_user_ctg_itm		無し	そのまま
43	ユーザ分類所属	imm_user_ctg_ath	有り	無し	そのまま

No	シノニム名称	テーブル名称	退避	変更点	データ移行
44	プライベートグループ	imm_private_grp		無し	そのまま
45	プライベートグループ所属	imm_private_grp_ath		無し	そのまま
46	パブリックグループ	imm_public_grp	有り	無し	そのまま
47	役割	imm_public_grp_role	有り	無し	そのまま
48	パブリックグループ所属	imm_public_grp_ath	有り	無し	そのまま
49	パブリックグループ所属役割	imm_public_grp_role_ath	有り	無し	そのまま
50	パブリックグループ内包	imm_public_grp_inc_ath	有り	無し	そのまま
51	パブリックグループセット	imm_public_grp_set		無し	そのまま
52	パブリックグループ分類	imm_public_grp_ctg		無し	そのまま
53	パブリックグループ分類項目	imm_public_grp_ctg_itm		無し	そのまま
54	パブリックグループ分類所属	imm_public_grp_ctg_ath	有り	無し	そのまま
55	単位	imm_unit		無し	そのまま
56	期間開始管理	imm_start_date		無し	そのまま

注意

以下のテーブルは削除されます。

シノニム名称	テーブル名称
法人内包	imm_corporation_inc_ath
法人セット	imm_corporation_set

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル作成

- 通貨関連の以下のテーブルをDROPします。

シノニム名称	テーブル名称
通貨	imm_currency
通貨レート	imm_currency_rate

- 標準と同じ内容で通貨関連の以下のテーブルをCREATEします。

シノニム名称	テーブル名称
通貨	imm_currency
通貨換算コード	imm_currency_conversion
通貨精度	imm_currency_precision
通貨レート	imm_currency_rate

- 通貨関連以外のテーブルで、データ移行が「そのまま」ではない以下のテーブルに対し、移行処理用のワークテーブルをCREATEします。

シノニム名称	テーブル名称
組織分類	imm_department_ctg
組織分類項目	imm_department_ctg_itm
法人グループ	imm_corporation_grp
法人グループ所属	imm_corporation_grp_ath
法人グループ内包	imm_corporation_grp_inc_ath
法人グループセット	imm_corporation_grp_set
法人	imm_corporation
法人所属	imm_corporation_ath
法人分類	imm_corporation_ctg
法人分類項目	imm_corporation_ctg_itm
法人分類所属	imm_corporation_ctg_ath
取引先分類	imm_customer_ctg
取引先分類項目	imm_customer_ctg_itm
品目カテゴリ	imm_item_category
品目カテゴリ内包	imm_item_category_inc_ath
品目カテゴリセット	imm_item_category_set
品目分類	imm_item_ctg
品目分類項目	imm_item_ctg_itm

2. 退避テーブル作成

- 通貨関連の以下のテーブルをDROPします。

シノニム名称	テーブル名称
(退避)通貨レート	bk_imm_currency_rate

- 標準と同じ内容で通貨関連の以下の退避テーブルをCREATEします。

シノニム名称	テーブル名称
(退避)通貨レート	bk_imm_currency_rate

- 通貨関連以外のテーブルで、退避テーブルが有り、データ移行が「そのまま」ではない以下のテーブルに対し、移行処理用のワークテーブルをCREATEします。

シノニム名称	テーブル名称
(退避)法人グループ	bk_imm_corporation_grp
(退避)法人グループ所属	bk_imm_corporation_grp_ath
(退避)法人グループ内包	bk_imm_corporation_grp_inc_ath
(退避)法人	bk_imm_corporation
(退避)法人所属	bk_imm_corporation_ath
(退避)法人分類所属	bk_imm_corporation_ctg_ath
(退避)品目カテゴリ	bk_imm_item_category
(退避)品目カテゴリ内包	bk_imm_item_category_inc_ath

テナントマスタ情報のインポート

差し替え元の内容に従います。

拡張インポートの実行

1. 移行データINSERT

以下のテーブルのワークテーブルへ移行データをINSERTします。

シノニム名称	テーブル名称
組織分類	imm_department_ctg
組織分類項目	imm_department_ctg_itm
法人グループ	imm_corporation_grp
法人グループ内包	imm_corporation_grp_inc_ath
法人グループセット	imm_corporation_grp_set
法人分類	imm_corporation_ctg
法人分類項目	imm_corporation_ctg_itm
取引先分類	imm_customer_ctg
取引先分類項目	imm_customer_ctg_itm
品目カテゴリ	imm_item_category
品目カテゴリ内包	imm_item_category_inc_ath
品目カテゴリセット	imm_item_category_set
品目分類	imm_item_ctg
品目分類項目	imm_item_ctg_itm

2. ワークテーブルリネーム

以下のテーブルの旧テーブルをDROPし、ワークテーブルを正式名にリネームします。

シノニム名称	テーブル名称	備考
組織分類	imm_department_ctg	
組織分類項目	imm_department_ctg_itm	
法人内包	imm_corporation_inc_ath	DROPのみ
法人セット	imm_corporation_set	DROPのみ
法人グループ	imm_corporation_grp	リネームのみ
法人グループ所属	imm_corporation_grp_ath	リネームのみ
法人グループ内包	imm_corporation_grp_inc_ath	リネームのみ
法人グループセット	imm_corporation_grp_set	リネームのみ
法人	imm_corporation	
法人所属	imm_corporation_ath	
法人分類	imm_corporation_ctg	
法人分類項目	imm_corporation_ctg_itm	
法人分類所属	imm_corporation_ctg_ath	
取引先分類	imm_customer_ctg	
取引先分類項目	imm_customer_ctg_itm	
品目カテゴリ	imm_item_category	
品目カテゴリ内包	imm_item_category_inc_ath	
品目カテゴリセット	imm_item_category_set	
品目分類	imm_item_ctg	
品目分類項目	imm_item_ctg_itm	

3. (退避) 移行データINSERT

以下の退避テーブルのワークテーブルへ移行データをINSERTします。

シノニム名称	テーブル名称	備考
(退避) 法人グループ	bk_imm_corporation_grp	法人セットの法人情報を移行
(退避) 法人グループ内包	bk_imm_corporation_grp_inc_ath	法人セットの法人内包を移行
(退避) 品目カテゴリ	bk_imm_item_category	会社毎にデータ作成
(退避) 品目カテゴリ内包	bk_imm_item_category_inc_ath	会社毎にデータ作成



コラム

退避テーブルの移行方法は、退避元テーブルと同じ考え方です。

4. (退避) ワークテーブルリネーム

以下の退避テーブルの旧テーブルをDROPし、ワークテーブルを正式名にリネームします。

シノニム名称	テーブル名称	備考
(退避) 法人グループ	bk_imm_corporation_grp	リネームのみ
(退避) 法人グループ所属	bk_imm_corporation_grp_ath	リネームのみ
(退避) 法人内包	bk_imm_corporation_inc_ath	DROPのみ
(退避) 法人グループ内包	bk_imm_corporation_grp_inc_ath	リネームのみ
(退避) 法人	bk_imm_corporation	
(退避) 法人所属	bk_imm_corporation_ath	
(退避) 法人分類所属	bk_imm_corporation_ctg_ath	
(退避) 品目カテゴリ	bk_imm_item_category	
(退避) 品目カテゴリ内包	bk_imm_item_category_inc_ath	

5. 会社リソース登録

無効なものも含め、全ての会社に対し、会社リソースを登録します。

データ移行仕様

会社毎にデータ作成

複数会社対応により会社コードが追加されたテーブルに対するデータ移行です。

各データに対し、会社ごとにデータを作成します。

以下に、組織分類を例に移行イメージを示します。

version 7.2

【組織分類】

分類コード1 分類名1 …

分類コード2 分類名2 …

分類コード3 分類名3 …

.

.

.

【会社】

会社コード1 …

会社コード2 …

会社コード3 …

.

.

.

【組織分類】

 会社コード1 分類コード1 分類名1 …

 会社コード1 分類コード2 分類名2 …

 会社コード1 分類コード3 分類名3 …

 .

 .

 .

 会社コード2 分類コード1 分類名1 …

 会社コード2 分類コード2 分類名2 …

 会社コード2 分類コード3 分類名3 …

 .

 .

 .

 会社コード3 分類コード1 分類名1 …

 会社コード3 分類コード2 分類名2 …

 会社コード3 分類コード3 分類名3 …

 .

 .

 .

法人セットの法人情報を移行

「法人グループ」に対するデータ移行です。

「法人セット(=法人のトップ階層)」の法人情報を、会社ごとに登録します。

- 法人セットの法人情報の取得条件
 - `imm_corporation.corporation_set_cd = imm_corporation.corporation_cd`

項目名	列名	設定内容
会社コード	<code>company_cd</code>	会社コード
法人グループセットコード	<code>corporation_group_set_cd</code>	<code>imm_corporation.corporation_cd</code>
法人グループコード	<code>corporation_group_cd</code>	<code>imm_corporation.corporation_cd</code>
ロケールID	<code>locale_id</code>	<code>imm_corporation.locale_id</code>
期間コード	<code>term_cd</code>	<code>imm_corporation.term_cd</code>
開始日	<code>start_date</code>	<code>imm_corporation.start_date</code>
終了日	<code>end_date</code>	<code>imm_corporation.end_date</code>

項目名	列名	設定内容
法人グループ名	corporation_group_name	imm_corporation.corporation_name
法人グループ略称	corporation_group_short_name	imm_corporation.corporation_short_name
法人グループ検索名	corporation_group_search_name	imm_corporation.corporation_search_name
備考	notes	imm_corporation.notes
削除フラグ	delete_flag	imm_corporation.delete_flag
ソートキー	sort_key	imm_corporation.sort_key
作成者	create_user_cd	imm_corporation.create_user_cd
作成日	create_date	imm_corporation.create_date
最終更新者	record_user_cd	imm_corporation.record_user_cd
最終更新日	record_date	imm_corporation.record_date

法人セットの法人内包を移行

「法人グループ内包」に対するデータ移行です。

「法人セット(=法人のトップ階層)」の法人内包を、会社ごとに登録します。

- 法人セットの法人内包の取得条件 (AND条件)
 - imm_corporation_grp_inc_ath.corporation_set_cd = imm_corporation_grp_inc_ath.corporation_cd
 - imm_corporation_grp_inc_ath.parent_corporation_cd = imm_corporation_grp_inc_ath.corporation_cd

項目名	列名	設定内容
会社コード	company_cd	会社コード
法人グループセットコード	corporation_group_set_cd	imm_corporation_inc_ath.corporation_set_cd
親法人グループコード	parent_corporation_group_cd	imm_corporation_inc_ath.parent_corporation_cd
法人グループコード	corporation_group_cd	imm_corporation_inc_ath.corporation_cd
期間コード	term_cd	imm_corporation_inc_ath.term_cd
開始日	start_date	imm_corporation_inc_ath.start_date
終了日	end_date	imm_corporation_inc_ath.end_date
階層レベル	depth	0
削除フラグ	delete_flag	imm_corporation_inc_ath.delete_flag
ソートキー	sort_key	imm_corporation_inc_ath.sort_key
作成者	create_user_cd	imm_corporation_inc_ath.create_user_cd
作成日	create_date	imm_corporation_inc_ath.create_date
最終更新者	record_user_cd	imm_corporation_inc_ath.record_user_cd
最終更新日	record_date	imm_corporation_inc_ath.record_date

法人セットを移行

「法人グループセット」に対するデータ移行です。
法人セットを、会社ごとに登録します。

項目名	列名	設定内容
会社コード	company_cd	会社コード
法人グループセットコード	corporation_group_set_cd	imm_corporation_set.corporation_set_cd
ソートキー	sort_key	imm_corporation_set.sort_key
作成者	create_user_cd	imm_corporation_set.create_user_cd
作成日	create_date	imm_corporation_set.create_date
最終更新者	record_user_cd	imm_corporation_set.record_user_cd
最終更新日	record_date	imm_corporation_set.record_date

(付録) 参考資料

[IM-共通マスタ データ移行参考資料](#) に、ER図ベースの資料があるので参考にしてください。

ポータル

制限事項の補足

- ポートレットモード「ヘルプ(HELP)」は廃止されましたが、移行においてはデータ削除を行いません。
 - version 7.2 で設定変更を行い、ヘルプ(HELP)モードを使用していた場合、b_m_portlet_mode にデータが残りますが、動作上の問題はありません。
 - version 7.2 で設定変更を行い、標準でインストールされるポートレットの種別に対し、「編集(EDIT)モードなし、ヘルプ(HELP)モードあり」にしていた場合、標準でインストールされるポートレットに以下の問題があります。
 - b_m_portlet_mode に編集モードのデータが登録されません。
 - 認可リソース[ポートレット編集モード]が登録されません。

上記状態になった場合、以下の操作で各データが修正されます。

[ポートレット一覧] - [ポートレット編集]を開き、[更新]ボタンを押下

移行可否一覧

種別	項目	移行可否	備考
ポータル	グローバルポータル	対象外	
	グループポータル	対象	
	ユーザポータル	対象	
ポートレット	ログインポートレット	対象外	
	汎用新着情報	対象外	
	全文検索	対象外	
	新着処理ポートレット	対象外	統合ワークフロー
	朝日新聞RSS	対象	
	Googleガジェット	対象	
	インターネット	対象	
	リンク集	対象	
	重要なお知らせ	対象	
	申請ポートレット	対象	IM-Workflow
	新着処理ポートレット	対象	IM-Workflow
	新着タスク	対象	ドキュメントワークフロー (BPW)
	その他ユーザが追加したポートレット	対象	
テーブル	b_m_portal_display_set	対象	
	b_m_portal_info	対象	
	b_m_portal_display_set	対象	

種別	項目	移行可否	備考
	b_m_portlet_display_set	対象	
	b_m_portlet_event_info	対象	
	b_m_portlet_info	対象	
	b_m_portlet_layout	対象	
	b_m_portlet_mode	対象	
	b_m_portlet_preference	対象	
	b_m_portlet_title_info	対象	
	b_m_rss_portlet	対象	
	b_m_sso_setting	対象	
	b_m_sso_user_setting	対象	
	b_m_system_notice	対象	
	b_m_link_category	対象	
	b_m_link_info	対象	
	b_m_portal_access_detail	対象外	アクセス権
	b_m_portal_access_role	対象外	アクセス権
	b_m_portlet_access_detail	対象外	アクセス権
	b_m_portlet_access_role	対象外	アクセス権
	b_m_portlet_mode_access_detail	対象外	アクセス権
	b_m_portlet_mode_access_role	対象外	アクセス権
	b_m_menu_link_fav_info	対象外	メニューリンク
	b_m_menu_link_set_info	対象外	メニューリンク

コラム

intra-mart Accel Platformでは WSRPは提供されていませんが、関連する以下のテーブルはそのままの状態を残します。

論理名	物理名
WSRPプロデューサ	producer
WSRP登録コンシューマ	consumer_registration
WSRP登録プロパティ	registration_property
WSRPプロデューサグローバルプロファイルマップ	producer_global_profile_map
WSRPプロデューサグローバルデータ	producer_global_data
WSRP登録プロデューサ	configured_producers
WSRPコンシューマグローバルデータ	consumer_global_data
WSRPコンシューマ名	consumer_name
WSRPコンシューマユーザプロファイルマップ	consumer_def_user_profile_map
WSRP公開ポートレット情報	b_m_wsrp_offered_portlet

テナント環境セットアップ

セットアップ設定ファイル

セットアップ設定ファイルの仕様は、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

差し替え

- ポータル

モジュール	ポータル
ショートモジュールID	im_portal
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_portal
ファイル名	import-im_portal-config-1.xml

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル定義の変更

- 以下のテーブル定義を変更します。

テーブル論理名	テーブル物理名	区分	カラム名称	カラム物理名
ポートレット	b_m_portlet_info	削除	グローバルポータル表示可否	global_portal_flag
ポートレット	b_m_portlet_info	追加	ポートレット高さ	portlet_height

2. 移行対象外テーブルのDROP

- 以下のテーブルを削除します。

テーブル論理名	テーブル物理名
ポートレットアクセスロール	b_m_portlet_access_role
ポートレットアクセス権詳細	b_m_portlet_access_detail
ポートレットモードアクセスロール	b_m_portlet_mode_access_role
ポートレットモードアクセス権詳細	b_m_portlet_mode_access_detail
ポータルアクセスロール	b_m_portal_access_role
ポータルアクセス権詳細	b_m_portal_access_detail
メニューリンクセット	b_m_menu_link_set_info
メニューリンク個別	b_m_menu_link_fav_info

テナントマスタ情報のインポート

標準の内容をベースに、以下を変更します。

- グループポータルの認可リソース、認可ポリシーはインポートしない。
- 以下の標準ポートレットの認可リソース(ポートレット、編集モード)、認可ポリシーをインポートしない。

ポートレット	編集モード有無
リンク集	有り
朝日新聞RSS	有り
重要なお知らせ	無し
Googleガジェット	有り
インターネット	有り



コラム

移行データに対する認可リソースは、この後の拡張インポートで対応します。



コラム

アクセス権は移行対象外のため、認可ポリシーは設定しません。



コラム

以下のインポートは標準と同じです。

- ロール
- メニュー
- 認可リソースグループ
- 認可サブジェクト

拡張インポートの実行

1. 拡張インポート(java)

- 標準と同じように、ポートレットをレジストリに登録します。

2. 拡張インポート(js)

1. ポートレットエディットモード登録

intra-mart Accel Platform でも標準インストールされる以下のポートレットが存在する場合、ポートレットエディットモードを登録します。

ポートレットコード	ポートレット名	備考
asahirss	朝日新聞RSS	
googlegadget	Googleガジェット	
internet	インターネット	
links	リンク集	
imw_apply	申請ポートレット	IM-Workflow
imw_proc	新着処理ポートレット	IM-Workflow
wkf	新着タスク	ドキュメントワークフロー (BPW)



コラム

「重要なお知らせ」には、ポートレットエディットモードはありません。

2. ポータル認可リソース登録

グループポータルに対し、ポータルの認可リソースを登録します。

3. ポートレット認可リソース登録

移行対象外のポートレットを除き、以下の認可リソースを登録します。

- ポートレットの認可リソースを登録します。
- ポートレットエディットモードが設定されている場合、ポートレットエディットモードの認可リソースを登録します。

移行対象外ポートレット

ポートレットコード	ポートレット名	備考
login	ログインポートレット	
sample_newly_arrived	汎用新着情報	
solr_search	全文検索	
imw_bpw_proc	新着処理ポートレット	統合ワークフロー

4. 移行対象外ポータル削除

グローバルポータルのデータを削除します。

5. 移行対象外ポートレット削除

移行対象外のポートレットのデータを削除します。

6. ポートレット情報更新

IM-Workflow ポートレット(申請ポートレット、新着処理ポートレット)が存在する場合、URLを intra-mart Accel

Platform の内容に修正します。

ポートレット名	ポートレットコード	ページ種	
		別	URL
申請ポートレット	imw_apply	pagebase	/im_workflow_portlet/user/apply/apply_list
新着処理ポート レット	imw_proc	pagebase	/im_workflow_portlet/user/process/process_list

7. コンテキストパス置換

以下のポートレット関連のデータ中のコンテキストパスを、移行先環境のコンテキストパスに置換します。

テーブル論理名	テーブル物理名	カラム名称	カラム物理名
ポートレット	b_m_portlet_info	エンティティIDプリフィックス	entity_id_prefix
ポートレット	b_m_portlet_info	ポートレット名	portlet_name
ポートレットユーザ設定	b_m_portlet_preference	ポートレット名	portlet_name

ViewCreator

テナント環境セットアップ

セットアップ設定ファイル

セットアップ設定ファイルの仕様は、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

差し替え

- ポータル

モジュール	ViewCreator
ショートモジュールID	viewcreator
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/viewcreator
ファイル名	import-viewcreator-config-1.xml

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル追加、テーブル定義変更

- 以下のテーブルをCREATEします。

テーブル論理名	テーブル物理名
データ参照閲覧権限	b_vc_data_acl
データ参照国際化情報	b_vc_data_i

- 以下のテーブル定義を変更します。

テーブル論理名	テーブル物理名	区分	カラム名称	カラム物理名	備考
クエリ	b_vc_query	追加	OR検索フラグ	orsearch	
クエリ	b_vc_query	追加	条件式直接入力フラグ	directwhere	
クエリ	b_vc_query	追加	WHERE句ステートメント	conditionwhere	
クエリ・カラム	b_vc_query_column	追加	ソートタイプ	sort_type	
データ参照	b_vc_data	追加	1ページに表示するレコード数	line_count	
データ参照	b_vc_data	追加	連携プログラムパス	program_path	
データ参照/リスト・カラム	b_vc_data_list_select	追加	表示セル幅	cell_width	
データ参照/リスト・カラム	b_vc_data_list_select	追加	日付フォーマット文字列	date_format	

テーブル論理名	テーブル物理名	区分	カラム名称	カラム物理名	備考
データ参照/リスト・カラム	b_vc_data_list_select	追加	数値フォーマット文字列	number_format	
データ参照/クロス	b_vc_data_cross	追加	数値フォーマット文字列	number_format	
データ参照/グラフ	b_vc_data_graph	追加	リスト表示フラグ	list	
クエリ	b_vc_query	変更	クエリ名	query_name	サイズを200に変更
データ参照	b_vc_data	変更	データ参照名	data_name	サイズを200に変更
データ参照	b_vc_data	変更	データ参照説明	data_info	サイズを600に変更
データ参照	b_vc_data	変更	ヘッダ表示文字列	header_info	サイズを600に変更
データ参照	b_vc_data	変更	フッタ表示文字列	footer_info	サイズを600に変更



注意

以下のテーブルは廃止されましたが、削除は行いません。

テーブル論理名	テーブル物理名
データ参照サマリ表示カラム	b_vc_data_summary_select
データ参照ロール権限	b_vc_data_authority_role
データ参照組織権限	b_vc_data_authority_department
データ参照役職権限	b_vc_data_authority_post
データ参照パブリックグループ権限	b_vc_data_authority_p_group

2. 共通項目追加

- intra-mart Accel Platform へ移行するテーブルに共通項目を追加します。

テーブル

テーブル論理名	テーブル物理名
クエリ	b_vc_query
クエリ・テーブル	b_vc_query_table
クエリ・結合条件	b_vc_query_line
クエリ・結合条件詳細	b_vc_query_line_detail
クエリ・カラム	b_vc_query_column
クエリ・抽出条件	b_vc_query_condition

テーブル論理名	テーブル物理名
データ参照	b_vc_data
データ参照/リスト・抽出条件	b_vc_data_list_condition
データ参照/リスト・カラム	b_vc_data_list_select
データ参照・検索設定	b_vc_search
データ参照/クロス	b_vc_data_cross
データ参照/グラフ	b_vc_data_graph
データ参照/グラフ・カラム	b_vc_data_graph_info
データ参照/グラフ・データ	b_vc_data_graph_data

共通項目

カラム名称	カラム物理名	デフォルト
作成者	create_user_cd	system
最終更新者	record_user_cd	system
作成日	create_date	システム日時
最終更新日	record_date	システム日時

テナントマスタ情報のインポート

差し替え元の内容に従います。

拡張インポートの実行

拡張インポートはありません。

IM-Workflow

IM-Workflow 移行モジュール は、IM-Workflow と IM-Workflow ポートレット の2つのモジュールに対応します。

テナント環境セットアップ

セットアップ設定ファイル

セットアップ設定ファイルの仕様は、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

差し替え

- IM-Workflow

モジュール	IM-Workflow
ショートモジュールID	im_workflow
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_workflow
ファイル名	import-im_workflow-config-1.xml

- IM-Workflow ポートレット

モジュール	IM-Workflow ポートレット
ショートモジュールID	im_workflow_portlet
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_workflow_portlet
ファイル名	import-im_workflow_portlet-config-1.xml

注意

以下の理由により、IM-Workflow 移行モジュール では、ポートレットのデータ移行処理はないため、処理なしのファイルで差し替えます。

- ポートレットのデータ移行は ポータル 移行モジュール でまとめて行われます。
- version 7.2 と intra-mart Accel Platform で、IM-Workflow のポートレット(申請ポートレット、新着処理ポートレット)に大きな変更はありません。
- アクセス権設定は移行対象外のため、認可ポリシーのインポートは行いません。

以下、IM-Workflow のデータ移行に対して説明します。

テーブル一覧

intra-mart Accel Platform のIM-Workflowテーブル一覧と、version 7.2 からの変更点、および、データ移行内容は以下の通りです。

No	論理名	物理名	変更内容	移行概要
1	IMBOXテンプレート	imw_m_imbox_template	新規テーブル	
2	IMBOXテンプレート種類	imw_m_imbox_template_classify	新規テーブル	
3	コンテンツ	imw_m_contents		
4	コンテンツ詳細	imw_m_contents_detail		
5	コンテンツIMBOXテンプレート	imw_m_contents_imbox_template	新規テーブル	
6	コンテンツメールテンプレート	imw_m_contents_mail_template		
7	コンテンツプラグイン	imw_m_contents_plugin		
8	コンテンツルール	imw_m_contents_rule		
9	コンテンツ画面パス	imw_m_page_path		
10	スレッド実行情報	imw_t_thread		
11	バッチ起動日時	imw_t_batch		
12	同期バッチ用ワークテーブル	imw_w_sync_batch		
13	フローグループ設定	imw_m_flow_group		
14	フローグループ	imw_m_group		
15	フローグループ内包	imw_m_group_inc		
16	分岐結合条件詳細	imw_m_branch_union_detail		
17	フロー	imw_m_flow		
18	フロー連携	imw_m_flow_cooperation		
19	フロー連携詳細	imw_m_flow_cooperation_detail		
20	フロー標準組織	imw_m_flow_default_orgz		
21	フロー詳細	imw_m_flow_detail		
22	フロー操作権限者	imw_m_flow_handle_user		
23	ノード属性連携	imw_m_node_attr_cooperation		
24	ノード連携	imw_m_node_cooperation		
25	ノード連携詳細	imw_m_node_cooperation_detail		

No	論理名	物理名	変更内容	移行概要
26	メールテンプレート	imw_m_mail_template		ファイルパス変更
27	メールテンプレート種類	imw_m_mail_template_classify		
28	ユーザデータ	imw_t_user_data		
29	ルート	imw_m_route		
30	ルート詳細	imw_m_route_detail		ファイルパス変更
31	ルートユーザ設定	imw_m_route_plugin		
32	ルール	imw_m_rule		
33	ルール詳細	imw_m_rule_detail		
34	案件プロパティ	imw_m_matter_property	「IMBox置換文字列使用可否フラグ」追加	
35	一時保存案件	imw_t_temporary_save		
36	一覧表示カラム	imw_m_column		
37	一覧パターン	imw_m_list_pattern		
38	一覧選択カラム	imw_m_selected_column_list		
39	ユーザ選択一覧パターン	imw_t_user_select_column_list		
40	印影設定	imw_t_stamp		
41	印影タグ設定	imw_t_stamp_tag		
42	過去案件	imw_ayyyymm_matter		ファイルパス変更
43	過去案件添付ファイル	imw_ayyyymm_matter_attach_file		
44	過去案件操作権限者	imw_ayyyymm_matter_auth_user		
45	過去案件確認処理履歴	imw_ayyyymm_matter_confirm		
46	過去案件ロケール	imw_ayyyymm_matter_locale		
47	過去案件タスク完了	imw_ayyyymm_matter_task		
48	過去案件ユーザデータ	imw_ayyyymm_matter_user_data		
49	過去案件印影情報	imw_t_ayyyymm_matter_task_stamp		
50	完了案件	imw_t_cpl_matter		ファイルパス変更

No	論理名	物理名	変更内容	移行概要
51	完了案件添付 ファイル	imw_t_cpl_matter_attach_file		
52	完了案件確認処 理履歴	imw_t_cpl_matter_confirm		
53	完了案件確認処 理権限者組織	imw_t_cpl_matter_confirm_orgz		
54	完了案件確認処 理権限者	imw_t_cpl_matter_confirm_user		
55	完了案件操作権 限者	imw_t_cpl_matter_handle_user		
56	完了案件ロケー ル	imw_t_cpl_matter_locale		
57	完了案件タスク	imw_t_cpl_matter_task		
58	完了案件印影情 報	imw_t_cpl_matter_task_stamp		
59	完了案件タスク 完了ユーザ	imw_t_cpl_matter_user		
60	完了案件ユーザ データ	imw_t_cpl_matter_user_data		
61	管理グループ	imw_m_administration_group		
62	管理グループ標 準組織	imw_m_administration_orgz	新規テーブル	
63	管理グループ権 限プラグイン	imw_m_administration_plugin	新規テーブル	管理グループ権限セット (imw_m_administration_auth_set) のデータをロールとして移行
64	管理グループ管 理対象	imw_m_administration_target		
65	アラート	imw_t_alert		URL変更
66	フロー別モニタリ ング	imw_t_monitoring_flow		
67	案件処理状況別 モニタリング	imw_t_monitoring_matter		
68	代理管理者設定	imw_m_act_administration		
69	代理設定	imw_t_act	「代理元対象 種別」「代理元 対象コード」追 加	

No	論理名	物理名	変更内容	移行概要
70	代理設定一時展開	imw_t_act_temporary_expand	「代理元対象種別」「代理元対象コード」追加	
71	未完了案件タスク処理対象者	imw_t_actv_executable_user	論理名変更	
72	未完了案件	imw_t_actv_matter	論理名変更	ファイルパス変更
73	未完了案件添付ファイル	imw_t_actv_matter_attach_file	論理名変更	
74	未完了案件案件操作権限者	imw_t_actv_matter_handle_user	論理名変更	
75	未完了案件案件ロケール	imw_t_actv_matter_locale	論理名変更	
76	未完了案件未完了タスク	imw_t_actv_task	論理名変更	
77	未完了案件タスク権限者組織	imw_t_actv_user_orgz	論理名変更	
78	未完了案件タスク処理対象者種別	imw_t_actv_user_target	新規テーブル	
79	未完了案件前処理タスク	imw_t_before_task	論理名変更	
80	未完了案件確認処理履歴	imw_t_confirm	論理名変更	
81	未完了案件確認処理権限者組織	imw_t_confirm_orgz	論理名変更	
82	未完了案件確認処理権限者	imw_t_confirm_user	論理名変更	
83	未完了案件完了タスク	imw_t_cpl_task	論理名変更	
84	未完了案件印影情報	imw_t_cpl_task_stamp		
85	未完了案件タスク完了ユーザ	imw_t_cpl_user	論理名変更	
86	利用者ノード設定	imw_t_user_node_config		
87	利用者ノード設定詳細	imw_t_user_node_config_detail		
88	利用者ノード設定ノード	imw_t_user_node_config_node		

i コラム

移行されるテーブル(新規テーブル以外)に共通の変更として、以下のカラムへのNOT NULL制約の追加があります。

論理名	物理名
作成者	create_user_code
最終更新者	update_user_code
作成日	create_date
最終更新日	update_date

i コラム

以下のテーブルが追加されます。

論理名	物理名
IMBOXテンプレート	imw_m_imbox_template
IMBOXテンプレート種類	imw_m_imbox_template_classify
コンテンツIMBOXテンプレート	imw_m_contents_imbox_template
管理グループ標準組織	imw_m_administration_orgz
管理グループ権限プラグイン	imw_m_administration_plugin
未完了案件タスク処理対象者種別	imw_t_actv_user_target

i コラム

以下のテーブルはデータ移行後、削除されます。

論理名	物理名
管理グループ権限セット	imw_m_administration_auth_set

i コラム

以下のテーブルは廃止されますが、テーブルはそのまま残ります。

論理名	物理名
置換文字列	imw_m_replace_string

テナントデータベースに対するDDL/DMLの発行

1. テーブル作成、カラム追加
 - 以下のテーブルをCREATELします。

論理名	物理名
IMBOXテンプレート	imw_m_imbox_template
IMBOXテンプレート種類	imw_m_imbox_template_classify
コンテンツIMBOXテンプレート	imw_m_contents_imbox_template
管理グループ標準組織	imw_m_administration_orgz
管理グループ権限プラグイン	imw_m_administration_plugin
未完了案件タスク処理対象者種別	imw_t_actv_user_target

- 以下のテーブルにカラムを追加します。

テーブル論理名	テーブル物理名	カラム名称	カラム物理名
案件プロパティ	imw_m_matter_property	IMBox置換文字列使用可否フラグ	imbox_flag
代理設定	imw_t_act	代理元対象種別	original_act_target_type
代理設定	imw_t_act	代理元対象コード	original_act_target_code
代理設定一時展開	imw_t_act_temporary_expand	代理元対象種別	original_act_target_type
代理設定一時展開	imw_t_act_temporary_expand	代理元対象コード	original_act_target_code

2. 初期値設定、初期データINSERT

- 以下のテーブルの追加カラムに初期値を設定します。

テーブル論理名	テーブル物理名	カラム名称	カラム物理名	設定値
案件プロパティ	imw_m_matter_property	IMBox置換文字列使用可否フラグ	imbox_flag	'0'

- 以下のテーブルに標準と同じ内容で初期データをINSERTします。

論理名	物理名
IMBOXテンプレート	imw_m_imbox_template
IMBOXテンプレート種類	imw_m_imbox_template_classify

テナントマスタ情報のインポート

差し替え元の内容に従います。

拡張インポートの実行

1. IMBox テンプレートファイルコピー

- 標準と同じ内容で、IMBox のテンプレートファイルをコピーします。

2. IMBox テンプレート テナントID/マスタファイルパス更新

- 標準と同じ内容で、IMBOXテンプレート(imw_m_imbox_template)のファイルパス対応を行います。

3. 管理グループ権限移行

- 管理グループ権限セット(imw_m_administration_auth_set)のデータを、管理グループ権限プラグイン(imw_m_administration_plugin)に移行します。

詳細はこの後の「データ移行仕様」を参照してください。

- 管理グループ権限セット(imw_m_administration_auth_set)テーブルをDROPします。

4. ファイルパス、ソースパス変更

- 以下のテーブルのファイルパスまたはソースパスを含むカラムに対し、「workflow」を「im_workflow」に変更します。

テーブル論理名	テーブル物理名	カラム名称	カラム物理名
メールテンプレート	imw_m_mail_template	メールテンプレートパス	mail_template_path
ルート詳細	imw_m_route_detail	ファイルパス	route_file_path
過去案件	imw_ayyyyymm_matter	ディレクトリパス	file_dir_path
完了案件	imw_t_cpl_matter	ディレクトリパス	file_dir_path
アラート	imw_t_alert	URL	link_url
未完了案件	imw_t_actv_matter	ディレクトリパス	file_dir_path

5. NOT NULL制約追加

「imw」で始まるテーブルのうち、新規テーブル以外に対し、以下の項目にNOT NULL制約を追加します。

カラム名称	カラム物理名	NULL時の更新内容
作成者	create_user_code	'im_workflow_migration 72 to 80'
最終更新者	update_user_code	'im_workflow_migration 72 to 80'
作成日	create_date	現在日時
最終更新日	update_date	現在日時

データ移行仕様

管理グループ権限プラグイン(imw_m_administration_plugin)

管理グループ権限セット(imw_m_administration_auth_set)のデータを、「ロール」による権限設定として、管理グループ権限プラグイン(imw_m_administration_plugin)に移行します。

カラム名称	カラム物理名	設定内容
管理グループID	administration_group_id	imw_m_administration_auth_set.administration_group_id
管理グループプラグインID	administration_group_plugin_id	ユニーク値(API Identifier.get())を使用
拡張ポイントID	extension_point_id	'jp.co.intra_mart.workflow.master.app.search.tabs.all'
プラグインID	plugin_id	'jp.co.intra_mart.workflow.master.app.search.tabs.all.role.list'

カラム名称	カラム物理名	設定内容
パラメータ	parameter	imw_m_administration_auth_set.access_role
対象種別	target_type	'role'
対象コード	target_code	imw_m_administration_auth_set.access_role
作成者	create_user_code	'im_workflow_migration 72 to 80'
最終更新者	update_user_code	'im_workflow_migration 72 to 80'
作成日	create_date	現在日時
最終更新日	update_date	現在日時

(付録) 参考資料

[IM-Workflow データ移行参考資料](#) に、ER図ベースの資料があるので参考にしてください。

IM-ContentsSearch

IM-ContentsSearchのデータは移行できません。設定ファイルもすべて再設定が必要です。

作成したクローラは、IM-ContentsSearch 用互換モジュールをインストールすることで、互換バッチとして使用可能になります。

IM-ContentsSearchのデータやリソース、設定について、移行しない/できない理由と、互換モジュールの内容は以下の通りです。

移行しない/できない理由

データ関係

- Solr
 - インデックス
 - 移行できない
 - インデックスは互換性がないため、すべて再作成する必要があります。
- version 7.2 -> intra-mart Accel Platform
 - 最終クローリング日時ファイル
 - 移行の必要なし
 - 再作成が必須なため不要です。
 - 動的フィールドファイル
 - 移行の必要なし
 - 再作成が必須なため不要です。

リソース関係

- version 7.2 -> intra-mart Accel Platform
 - 製品標準で提供されるもの
 - クローラ
 - 移行の必要なし
 - IM-Workflowクローラは標準モジュールで新規に提供します。
 - ドキュメントワークフロー (BPW) クローラはAdvanced版互換モジュールで新規に提供します。
 - クローラのリスナー
 - 要再作成
 - リスナーのインターフェースが変わったため、リスナーを作成していたユーザは新しいインターフェースで再作成する必要があります。
 - リスナーの設定先が system-install.xml から plugin.xml に変更されました。
 - テンプレート画面
 - 移行の必要なし
 - 新規に提供します。
 - ユーザ独自のもの
 - クローラ
 - 互換モジュールで動作保証
 - 提供される互換APIは、APIドキュメントの「[\(互換\)IM-ContentsSearch API](#)」を参照してください

い。



注意

基本的にAPIのインタフェースの互換性は保持されますが、ファセット等に一部仕様変更があり、作りによっては意図した動作にならない可能性があります。

- バッチは、ジョブとして再設定してください。
 - 詳細は、互換ガイドの「[ジョブスケジューラへの登録方法](#)」を参照してください。
- テンプレート画面
 - 要再作成
 - UIが一新されたため、テンプレートは intra-mart Accel Platform のUIデザインガイドラインに準拠してください。

設定ファイル関係

- Solr
 - schema.xml
 - 移行できない
 - Solrのバージョンが変わり、標準のスキーマが変更になるため、移行できません。
 - 通常は編集不要ですが、カスタマイズしている場合は、個別に対応する必要があります。
 - solrconfig.xml
 - 移行できない
 - Solrのバージョンが変わるため、移行できません。
 - ユーザが独自でチューニングした部分は、個別に再設定する必要があります。
 - mecab、および、sen のカスタマイズ辞書ファイル
 - 移行できない
 - mecab、sen を使わなくなったため、移行できません。
 - 新しく提供される kuromoji の辞書に移行する必要があります。
- version 7.2 -> intra-mart Accel Platform
 - solr-config.xml
 - 移行できない
 - 必要に応じて設定値を手作業で移行する必要があります。



コラム

以下のような変更があります。

- 一部の設定項目の削除
- スキーマ定義が必要

- 詳細は、「[設定ファイルリファレンス - IM-ContentsSearch](#)」を参照してください。
- solr-extractor-config.xml
 - 移行できない
 - 必要に応じて設定値を手作業で移行する必要があります。
 - 詳細は、「[設定ファイルリファレンス - IM-ContentsSearch](#)」を参照してください。

セットアップ設定ファイル

Standard版は標準クローラは存在しないため、Advanced版のみ、テナント環境セットアップを行います

セットアップ設定ファイルの仕様は、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

モジュール	IM-ContentsSearch用互換モジュール
ショートモジュールID	im_contents_search_compatible_advanced
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_contents_search_compatible_advanced
ファイル名	import-im_contents_search_compatible_advanced-config-1.xml

ジョブ/ジョブネット

1. 標準で用意されているジョブカテゴリ「IM-ContentsSearchクローラ」に以下を登録する。

- [ジョブ] 差分ドキュメントワークフロークローラ
- [ジョブ] 削除ドキュメントワークフロークローラ
- [ジョブ] 再作成ドキュメントワークフロークローラ

2. 上記ジョブを、標準で用意されている以下のジョブネットに登録する。

- [ジョブネット] 差分クローリング
 - [ジョブ] 差分ドキュメントワークフロークローラ
- [ジョブネット] 削除クローリング
 - [ジョブ] 削除ドキュメントワークフロークローラ
- [ジョブネット] 再作成クローリング
 - [ジョブ] 再作成ドキュメントワークフロークローラ

アプリケーション共通マスタ

アプリケーション共通マスタでは、以下に示すデータをテナント環境セットアップでインポートします。



コラム

「互換ガイド」も参照してください。



コラム

Standard版とAdvanced版でアプリケーション共通マスタのテナント環境セットアップ内容に違いはありません。
なお、Advanced版のセットアップ設定ファイルは、ドキュメントワークフロー（BPW）と共有となっています。

セットアップ設定ファイル

セットアップ設定ファイルの仕様は、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

Standard版

モジュール	互換基本機能
ショートモジュールID	im_compatible_standard
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_compatible_standard
ファイル名	import-im_compatible_standard-config-1.xml

Advanced版

モジュール	互換基本機能
ショートモジュールID	im_compatible_advanced
フォーマットファイル(xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_compatible_advanced
ファイル名	import-im_compatible_advanced-config-1.xml

ロール

カテゴリ	ロールID	ロール名	表示名	サブロール
なし	appcmnsuper	appcmnsuper	アプリケーション共通マスタ管理者	なし

メニュー

サイトマップ(PC)

- [メニューグループ] アプリケーション共通マスタ
 - [フォルダ] 商品マスタ設定
 - [アイテム] 商品設定
 - [アイテム] 商品テンプレート設定

- [アイテム] 商品カテゴリ設定
- [アイテム] 商品取扱設定
- [アイテム] 商品マスタインポート

ジョブ/ジョブネット

- [ジョブカテゴリ] 互換
 - [ジョブ] [互換] アカウントインポート (csv)
 - [ジョブ] [互換] アカウントインポート (xml)
 - [ジョブ] [互換] ロールインポート (xml)
- [ジョブネットカテゴリ] 互換
 - [ジョブネット] [互換] アカウントインポート (csv)
 - [実行ジョブ] [互換] アカウントインポート (csv)
 - [ジョブネット] [互換] アカウントインポート (xml)
 - [実行ジョブ] [互換] アカウントインポート (xml)
 - [ジョブネット] [互換] ロールインポート (xml)
 - [実行ジョブ] [互換] ロールインポート (xml)

認可リソース

凡例...[種別] ID:名称

- http-services
 - [リソースグループ] appcmn:アプリケーション共通マスタ
 - [リソースグループ] appcmn_item_settings:商品マスタ設定
 - [リソース] appcmn_item:商品設定
 - [リソース] appcmn_item_template:商品テンプレート設定
 - [リソース] appcmn_item_category:商品カテゴリ設定
 - [リソース] appcmn_item_deal:商品取扱設定
 - [リソース] appcmn_item_import:商品マスタインポート

認可サブジェクト

expression	表示名
b_m_role:appcmnsuper	アプリケーション共通マスタ管理者

認可ポリシー

画面・処理

リソース名	アクション	サブジェクト	
		ロール	
		テナント管理者	アプリケーション共通マスタ管理者

リソース名	アクション	サブジェクト	
		ロール	
		テナント管理者	アプリケーション共通マスタ管理者
アプリケーション共通マスタ			
商品マスタ設定			
商品設定	実行	許可	許可
商品テンプレート設定	実行	許可	許可
商品カテゴリ設定	実行	許可	許可
商品取扱設定	実行	許可	許可
商品マスタインポート	実行	許可	許可

メニュー設定

リソース名	アクション	サブジェクト	
		ロール	
		テナント管理者	アプリケーション共通マスタ管理者
アプリケーション共通マスタ	参照	許可	許可

拡張インポート

拡張インポートはありません。

ドキュメントワークフロー (BPW)

ドキュメントワークフロー (BPW) では、以下に示すデータをテナント環境セットアップでインポートします。



コラム

「互換ガイド」も参照してください。

セットアップ設定ファイル

セットアップ設定ファイルの仕様は、「[テナント環境セットアップ 仕様書](#)」を参照してください。

モジュール	互換基本機能
ショートモジュールID	im_compatible_advanced
フォーマットファイル (xsd)	WEB-INF/schema/import-data-config.xsd
配置先ディレクトリ	WEB-INF/conf/products/import/basic/im_compatible_advanced
ファイル名	import-im_compatible_advanced-config-1.xml

ロール

カテゴリ	ロールID	ロール名	表示名	サブロール
im_bpw	bpwsuper	bpwsuper	BPW管理者	なし
im_bpw	bpwuser	bpwuser	BPWユーザ	なし

メニュー

サイトマップ (PC)

- [メニューグループ] ドキュメントワークフロー (BPW)
 - [フォルダ] マスタメンテナンス
 - [アイテム] カテゴリ
 - [アイテム] プロセス定義
 - [アイテム] プロセス操作
 - [アイテム] 一覧表示項目
 - [アイテム] モニタリング
 - [アイテム] ルート作成標準対象者設定
 - [フォルダ] インポート/エクスポート
 - [アイテム] カテゴリ
 - [アイテム] プロセス定義
 - [アイテム] 起票
 - [アイテム] 起票済
 - [アイテム] 未処理
 - [アイテム] 処理済

- [アイテム] 参照
- [アイテム] 代理設定
- [フォルダ] 代理
 - [アイテム] 起票
 - [アイテム] 起票済
 - [アイテム] 未処理
 - [アイテム] 処理済

ジョブ/ジョブネット

ジョブはすべて [BatchJobAdapter](#) 経由で実行します。

- [ジョブカテゴリ] ドキュメントワークフロー(BPW)
 - [ジョブ] ワークフロー自動パス
 - [ジョブ] ワークフロー自動催促
 - [ジョブ] ワークフロー承認結果履歴情報削除
 - [ジョブ] ワークフローモニタリング情報削除
 - [ジョブ] ワークフロー参照マスタワークテーブル更新
- [ジョブネットカテゴリ] ドキュメントワークフロー(BPW)
 - [ジョブネット] ワークフロー自動パス
 - [実行ジョブ] ワークフロー自動パス
 - [ジョブネット] ワークフロー自動催促
 - [実行ジョブ] ワークフロー自動催促
 - [ジョブネット] ワークフロー承認結果履歴情報削除
 - [実行ジョブ] ワークフロー承認結果履歴情報削除
 - [ジョブネット] ワークフローモニタリング情報削除
 - [実行ジョブ] ワークフローモニタリング情報削除
 - [ジョブネット] ワークフロー参照マスタワークテーブル更新
 - [実行ジョブ] ワークフロー参照マスタワークテーブル更新

認可リソース

凡例...[種別] ID:名称

- http-services
 - [リソースグループ] im_bpw:ドキュメントワークフロー(BPW)
 - [リソースグループ] im_bpw_manager:BPW管理者
 - [リソースグループ] im_bpw_maintenance:マスタメンテナンス
 - [リソース] im_bpw_category:カテゴリ
 - [リソース] im_bpw_process_def:プロセス定義
 - [リソース] im_bpw_process_ope:プロセス操作
 - [リソース] im_bpw_select_list:一覧表示項目

- [リソース] im_bpw_monitor:モニタリング
- [リソース] im_bpw_route_set:ルート作成標準対象者設定
- [リソースグループ] im_bpw_import_export:インポート/エクスポート
 - [リソース] im_bpw_impexp_category:カテゴリ
 - [リソース] im_bpw_impexp_process_def:プロセス定義
- [リソースグループ] im_bpw_user:BPWユーザ
 - [リソース] im_bpw_entry:起票
 - [リソース] im_bpw_assued:起票済
 - [リソース] im_bpw_not_comp:未処理
 - [リソース] im_bpw_consented:処理済
 - [リソース] im_bpw_reference:参照
 - [リソース] im_bpw_rep_set:代理設定
 - [リソースグループ] im_bpw_user_represen:代理
 - [リソース] im_bpw_rep_entry:起票
 - [リソース] im_bpw_rep_assued:起票済
 - [リソース] im_bpw_rep_not_co:未処理
 - [リソース] im_bpw_rep-proce:処理済
- http-services-unmanaged
 - [リソースグループ] im_bpw_http_services_unmanaged:ドキュメントワークフロー(BPW)
 - [リソース] im_bpw_common:BPW 共通

認可サブジェクト

expression	表示名
b_m_role:bpwsuper	BPW管理者
b_m_role:bpwuser	BPWユーザ

認可ポリシー

画面・処理

リソース名	アクション	サブジェクト		
		ロール		
		テナント管理者	BPW管理者	BPWユーザ
ドキュメントワークフロー(BPW)				
BPW管理者				
マスタメンテナンス				
カテゴリ	実行	許可	許可	
プロセス定義	実行	許可	許可	
プロセス操作	実行	許可	許可	
一覧表示項目	実行	許可	許可	
モニタリング	実行	許可	許可	

リソース名	アクション	サブジェクト			
		ロール			
		テナント管理者	BPW管理者	BPWユーザ	
ルート作成標準対象者設定	実行	許可	許可		
インポート/エクスポート					
カテゴリ	実行	許可	許可		
プロセス定義	実行	許可	許可		
BPWユーザ					
起票	実行	許可	許可	許可	
起票済	実行	許可	許可	許可	
未処理	実行	許可	許可	許可	
処理済	実行	許可	許可	許可	
参照	実行	許可	許可	許可	
代理設定	実行	許可	許可	許可	
代理					
起票	実行	許可	許可	許可	
起票済	実行	許可	許可	許可	
未処理	実行	許可	許可	許可	
処理済	実行	許可	許可	許可	

HTTPサービス(設定不可)

リソース名	アクション	サブジェクト	
		認証	
		認証済みユーザ	
ドキュメントワークフロー(BPW)			
BPW 共通	実行	許可	

メニュー設定

リソース名	アクション	サブジェクト		
		ロール		
		テナント管理者	BPW管理者	BPWユーザ
ドキュメントワークフロー(BPW)	参照	許可	許可	許可

拡張インポート

採番ファイルが無ければ、作成します。

その他

TableMaintenance

version 7.2 のテーブルについて

TableMaintenance のデータ移行処理は行いません。
そのため、以下のテーブルがそのまま残っています。

b_tm_table

b_tm_column

b_tm_auth_role

b_tm_auth_department

b_tm_auth_post

b_tm_auth_p_group

IM-FormatCreator

IM-FormatCreator の移行については、以下を参照してください。

- [IM-FormatCreator 移行ガイド](#)

version 7.2 のテーブルについて

intra-mart Accel Platform の移行ツールでは、IM-FormatCreator のデータ移行処理は行いません。
そのため、以下のテーブルがそのまま残っています。

fc_m_application

fc_m_application_layout

fc_m_application_item

fc_m_application_item_detail

fc_m_application_item_sql

fc_m_wkf_cooperation

fc_t_application

fc_t_application_detail
